

*Bactrocera dorsalis* species complex  
(ミカンコミバエ種群) に関する  
病害虫リスクアナリシス報告書

令和8年2月24日 改訂

農林水産省横浜植物防疫所

## 主な改訂履歴及び内容

平成	30年	10月	29日	作成
令和	2年	3月	25日	発生国の追加（レユニオン）、発生国の名称変更（エスワティニ）
令和	3年	2月	24日	発生国等の追加（エリトリア等6箇国及びフランス領ギアナ等3地域）、寄主植物の追加（カカオ等97種）
令和	4年	1月	6日	発生国の追加（オマーン等3箇国）
令和	7年	1月	21日	発生国の追加（アゼルバイジャン及びガイアナ）
令和	8年	2月	24日	寄主植物の追加（ポメティア・ピンナタ（バンリュウガン））

## 目次

はじめに.....	1
I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害動物）.....	1
1. 学名及び分類.....	1
2. 地理的分布.....	2
3. 寄主植物及びその日本国内での分布.....	3
4. 寄生部位及びその症状.....	3
5. 移動分散方法.....	3
6. 有害動物の大きさ及び生態.....	4
7. 媒介性又は被媒介性.....	4
8. 被害の程度.....	4
9. 防除.....	5
10. 日本における輸入検疫措置.....	5
11. 諸外国における輸入検疫措置.....	6
II 病害虫リスクアナリシスの結果.....	7
第1 開始（ステージ1）.....	7
1. 開始.....	7
2. 対象となる有害動植物.....	7
3. 対象となる経路.....	7
4. 対象となる地域.....	7
5. 開始の結論.....	7
第2 病害虫リスク評価（ステージ2）.....	8
1. 有害動植物の類別.....	8
2. 農業生産等への影響の評価.....	8
3. 入り込みの可能性の評価.....	11
4. <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の病害虫リスク評価の結論.....	11
第3 病害虫リスク管理（ステージ3）.....	12
1. <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討.....	12
2. 経路ごとの <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討.....	15
別紙1 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の発生国等の根拠.....	17
別紙2 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の寄主植物の根拠.....	21
別紙3 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の寄主植物に関連する経路の年間輸入検査量 （発生国からの貨物、郵便物及び携帯品）.....	51
別紙4 諸外国における輸入検疫措置の詳細.....	55
引用文献.....	64

## はじめに

*Bactrocera dorsalis* species complex (ミカンコミバエ種群) は、分布範囲の広さ、加害能力、市場への潜在的影響から多くの国で大きな脅威と捉えられており、防除をしていない果実は 100%の被害に達する場合もある重要な病害虫である。このため、大韓民国及びジャマイカでは *B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止し、アメリカ合衆国等の多くの国で本種群の寄主植物に対して低温処理等の検疫措置を求めている。

日本においては、本種群は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表 1 に規定されている検疫有害動物であり、同施行規則別表 2 に規定されている国又は地域からの該当する寄主植物の生果実の輸入が禁止されている。

今般、本種群の寄主植物に係る新たな情報を入手したことを受け、改めて本種群に対する現行の検疫措置の有効性を検討するため、病害虫リスクアナリシスを実施した。

## I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害動物）

### 1. 学名及び分類

#### (1) 学名

*Bactrocera dorsalis* species complex

#### (2) 英名、和名等

英名：Oriental fruit fly species complex

和名：ミカンコミバエ種群

#### (3) 分類

種類：節足動物

科：Tephritidae

属：*Bactrocera*

※ Drew and Hancock (1994) は *Bactrocera dorsalis* species complex を整理し、特に *B. carambolae*、*B. caryeae*、*B. dorsalis*、*B. kandiensis*、*B. occipitalis*、*B. papayae*、*B. philippinensis* 及び *B. pyrifoliae* の 8 種を経済的に重要な種として位置づけた。その後、*B. philippinensis* は *B. papayae* のシノニム (Drew and Romig, 2013) として、*B. papayae* 及び *B. invadens* は *B. dorsalis* のシノニム (Schutze et al., 2015) としてそれぞれ整理された。

#### (4) シノニム (*Bactrocera dorsalis* のシノニム (CABI, 2018b; Drew and Romig, 2013; Schutze et al., 2015))

*Bactrocera* (*Bactrocera*) *dorsalis* Drew & Hancock, 1994

*Bactrocera* (*Bactrocera*) *invadens* Drew et al., 2005

*Bactrocera* (*Bactrocera*) *papayae* Drew & Hancock, 1994

*Bactrocera* (*Bactrocera*) *philippinensis* Drew & Hancock, 1994

*Bactrocera* (*Bactrocera*) *variabilis* Lin & Wang

*Bactrocera ferruginea* Bezzi, 1913

*Bactrocera invadens* Drew, Tsuruta & White

*Bactrocera papayae* Drew & Hancock

*Bactrocera philippinensis*

*Chaetodacus ferrugineus* Bezzi, 1916  
*Chaetodacus ferrugineus dorsalis* Bezzi, 1916  
*Chaetodacus ferrugineus var. dorsalis* Hendel, 1915  
*Chaetodacus ferrugineus var. okinawanus* Shiraki, 1933  
*Dacus (Bactrocera) dorsalis* Hardy, 1977  
*Dacus (Bactrocera) semifemoralis* Tseng et al., 1992  
*Dacus (Bactrocera) yilanensis* Tseng et al., 1992  
*Dacus (Strumeta) dorsalis* Hardy & Adachi, 1956  
*Dacus dorsalis* Hendel, 1912  
*Dacus ferrugineus* (Fabricius, 1805)  
*Musca ferruginea* Fabricius, 1794, preocc.  
*Strumeta dorsalis* Hering, 1956  
*Strumeta dorsalis okinawana* Shiraki, 1968  
*Strumeta ferruginea* Hering, 1956

## 2. 地理的分布

### (1) 国又は地域（詳細は別紙1参照。）

アジア：インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中華人民共和国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マレーシア、ミャンマー、ラオス

中東：オマーン

欧州：アゼルバイジャン

アフリカ：アンゴラ、ウガンダ、エスワティニ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カボベルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボアール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ザンビア、シエラレオネ、ジンバブエ、スーダン、赤道ギニア、セネガル、タンザニア、チャド、中央アフリカ共和国、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マイヨット島、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ共和国、モザンビーク、モーリシャス、モーリタニア、リベリア、ルワンダ、レユニオン

中南米：ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ

大洋州：オーストラリア領クリスマス島、北マリアナ諸島、ナウル、パプアニューギニア、パラオ、ハワイ諸島、フランス領ポリネシア

※1 南米においては、スリナム及びフランス領ギアナで本種群に含まれる *B. carambolae* の発生が確認されて以来、ブラジルでは、フランス領ギアナに隣接するアマパー州で発生が確認され、その後、隣接するパラ州、ロライマ州でも確認されている。なお、ブラジルにおいては発生が確認されている3州では公的防除を実施中である（Castilho et al., 2019）。

※2 日本における *B. dorsalis* の侵入から根絶までの歴史

*B. dorsalis* は 1919 年に沖縄本島で発見され、1946 年に奄美群島全域、1968 年に硫黄島等の一部を除く小笠原諸島ほぼ全域で発生が確認された。また、1974 年に

トカラ列島、種子島、屋久島で発生が確認されたが、ただちに防除が行われた結果、定着には至らなかった。このため、南西諸島では雄除去法、小笠原諸島では雄除去法と不妊虫放飼法を組み合わせた根絶防除事業が行われ、1986年八重山群島での根絶確認により、防除開始から18年の歳月と総額50億円の直接防除費用（人件費除く。）をかけ、*B. dorsalis*は日本から根絶された（石井ら, 1985; 佐伯ら, 1980; 農林水産省植物防疫所, 1986; 吉澤, 1993）。

なお、全国の主要な海空港等で誘引剤を用いた侵入調査を実施しており、本種群の侵入防止に努めている。また、本種群が検出された場合、農林水産省、地方農政局、内閣府沖縄総合事務局、都道府県など関係機関と協力して適切な防除を実施するための体制が整備されている（加藤, 2016; 農林水産省植物防疫所, 2024）。

## (2) 生物地理区

本種群は、旧北区、東洋区、エチオピア区、オセアニア区及び新熱帯区の5区に分布する。

## 3. 寄主植物及びその日本国内での分布

### (1) 寄主植物（詳細は別紙2参照。）

### (2) 日本国内における寄主植物の分布及び栽培状況

イチゴ、カボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス及びブドウ属：47都道府県で栽培。

ナシ、モモ及びリンゴ：46都道府県で栽培。

カキ：45都道府県で栽培。

ミカン属：42都道府県（北海道、東北の一部を除く。）で栽培。

ニガウリ：39都道府県で栽培。

ビワ：35都道府県で栽培。

マンゴウ：沖縄県、宮崎県、鹿児島県等10県で栽培。

※ 上記以外の寄主植物についても、国内で広く分布又は栽培されている。

## 4. 寄生部位及びその症状

雌成虫は寄主植物の果実の果皮下に十数個の卵を産み、重複産卵された場合には1個の果実に数百頭の幼虫が寄生していることもある（CABI, 2018b; 石井ら, 1985）。25°Cの飼育条件下では、平均産卵数は627個/頭、1日あたりの平均産卵数は18個/頭である（一戸ら, 1973）。幼果よりも熟果に好んで産卵する（石井ら, 1985）。果実表面に産卵痕が生じるが、寄生初期段階では発見が困難である。幼虫は果実内を加害し、加害された果実は腐敗し、落果する（CABI, 2018b; 加藤, 2016）。

## 5. 移動分散方法

### (1) 自然分散

成虫が飛翔により移動する。過去に行われた標識再捕法による研究では、飛翔距離は2～65kmの範囲で報告されている（Otuka et al., 2016）。

### (2) 人為分散

本種群が寄生した果実により移動する（CABI, 2018b）。

## 6. 有害動物の大きさ及び生態

### (1) 有害動物の大きさ

卵：白色～黄白色で長さ 0.8～1.37 mm、幅 0.2～0.24 mm (CABI, 2018b; Ichinohe et al., 1980; 上地・有本, 2012)

幼虫：体長は 1 齢幼虫で約 1.2～1.3 mm、2 齢幼虫で約 2.5～5.8 mm、3 齢幼虫で約 7.0～11.0 mm (CABI, 2018b; 石井ら, 1985; 上地・有本, 2012)

蛹：長さ約 3.8～5.2 mm で黄褐色又は暗褐色 (Ichinohe et al., 1980; 上地・有本, 2012)

成虫：体長は約 7～8 mm (石井ら, 1985; 上地・有本, 2012; 加藤, 2016)

### (2) 繁殖様式

両性生殖する (CABI, 2018b)。

### (3) 年間世代数

卵は産卵後 1 日以内にふ化する (涼しい環境では 20 日掛かる場合もある)。幼虫期間は 6～35 日間で、土中で蛹化し、10～12 日後に成虫となって出現する (涼しい環境では 90 日掛かる場合もある)。成虫は 1 年を通じて発生し、羽化後 8～12 日で交尾し、1～3 か月生存する (CABI, 2018b)。

*B. dorsalis* の発育零点及び有効積算温度は、卵は 11.65°C で 22.87 日度、幼虫は 11.85°C で 85.06 日度、蛹は 11.00°C で 163.49 日度、産卵前期間は 15.13°C で 148.48 日度、卵から羽化までは 11.43°C で 269.98 日度である (佐伯ら, 1980)。発育零点及び有効積算温度から推定される *B. dorsalis* の日本各地における年間世代数は、札幌 2 世代、仙台 3 世代、東京 4 世代、鹿児島 5 世代、那覇 8 世代である (佐伯ら, 1980; 岩泉, 1995)。

### (4) 植物残さ中での生存

落下した果実中でも生存する (CABI, 2018b)。

### (5) 休眠性

情報なし。

## 7. 媒介性又は被媒介性

情報なし。

## 8. 被害の程度

寄主範囲が広く、防除をしていない果実は 100% の被害に達する場合もある。*B. dorsalis* の主要な寄主はミカン属、キンカン属、カラタチ属 (以下「カンキツ類」という。)、リンゴ、アンズ、バンジロウ、マンゴウ、モモ、ナシ、スモモ等である。分布範囲の広さ、加害能力、市場への潜在的影響から多くの国で大きな脅威と捉えられている (CABI, 2018b)。

日本では、*B. dorsalis* の根絶前に行われた調査では、沖縄県では、カンキツ類で 4.1～36.4%、モモで 14.7～40.8%、パパイヤで 19.0～27.2%、ピーマンで 2.4～10.5%、トマトで 0.2～4.9%、バンジロウで 30.8～63.8% の被害果が、鹿児島県奄美群島では、カンキツ類で 0.3～15.4%、モモで 19.5～39.8%、スモモでは 1.9～27.7%、バンジロウでは 13.7～97.4% の被害果が確認されている (石井ら, 1985)。

## 9. 防除

産卵を防止するための果実の袋がけ、誘引剤を利用した雄除去法、ベイト剤（殺虫剤＋タンパク質餌）の散布による防除（CABI, 2018b）。誘引剤はメチルオイゲノールを使用する（Drew and Romig, 2013; FAO, 2015）。

また、本種群の未発生国の多くは、誘引剤を用いた侵入警戒調査を実施しており（CABI, 2018b）、本種群が検出された場合は、各国のアクションプランに基づき寄主植物の移動制限、寄主植物（果実）の除去、ベイト剤の散布等の公的防除が行われている。モーリシャスでは、本種群の根絶のために100万米ドルの費用がかけられた（CABI, 2018b）が、現在、同国内にまん延している（Sookar et al., 2020; EPPO, 2021）。

## 10. 日本における輸入検疫措置

本種群は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表1に規定されている検疫有害動物であり、同施行規則別表2に規定されている国又は地域からの該当する寄主植物の生果実の輸入は認められていない（輸入禁止）。しかし、以下の寄主植物は、「農林水産大臣が定める基準に適合している。」（同施行規則別表2の付表）ことを条件に輸入が認められている。

### (1) 蒸熱処理

- ・ タイ産トーンディー種のポメロの生果実
- ・ ハワイ諸島産ソロ種のパパイヤの生果実
- ・ フィリピン産ソロ種のパパイヤの生果実
- ・ ベトナム産ヒロセレウス・ウンダーツス及びヒロセレウス・ウンダーツスとヒロセレウス・コスタリケンシスとの交雑種の生果実
- ・ 台湾産ヒロセレウス属植物（ヒロセレウス・ウンダーツス、ヒロセレウス・コスタリケンシス及びヒロセレウス・ポリリズス並びにこれらの交雑種）の生果実
- ・ タイ産マンゴスチンの生果実
- ・ フィリピン産マニラスーパー種のマンゴウの生果実
- ・ 台湾産台農二号種のパパイヤ及びアーヴィン種及びハーデン種のマンゴウの生果実
- ・ タイ産キオウサウエイ種、チョークアナン種、ナンカンワン種、ナンドクマイ種、ピムセンダン種、マハチャノ種及びラッド種のマンゴウの生果実
- ・ ハワイ諸島産ケイト種及びヘイデン種のマンゴウの生果実
- ・ インド産アルフォンソ種、ケサー種、チョウサ種、バンガンパリ種、マリカ種及びラングラ種のマンゴウの生果実
- ・ マレーシア産ハルマニス種のマンゴウの生果実
- ・ パキスタン産シンドリ種及びチョウサ種のマンゴウの生果実
- ・ ベトナム産カッチュー種のマンゴウの生果実

### (2) 低温処理

- ・ 南アフリカ共和国産バレンシア種、ワシントンネーブル種、トマンゴ種及びプロテア種のスイートオレンジ、レモン、グレープフルーツ、クレメンティン並びにバーリンカ種のブドウの生果実（対象：本種群及びチチュウカイミバエ）
- ・ エスワティニ産バレンシア種、ワシントンネーブル種、トマンゴ種及びプロテア種のスイートオレンジ、グレープフルーツ並びにクレメンティンの生果実（対象：本種群及びチチュウカイミバエ）
- ・ 台湾産ポンカン、ポメロ、巨峰及びイタリア種のブドウ並びにインドナツメの生果実
- ・ 南アフリカ共和国産ハス種のアボカドの生果実

- ・ ベトナム産リュウガンの生果実

(3) くん蒸処理

- ・ 台湾産タンカン、リュウチン種のスウィートオレンジ及びカイト種のマンゴウの生果実
- ・ ベトナム産ティエウ種レイシの生果実

(4) 蒸熱処理及び低温処理

- ・ 台湾産レイシの生果実
- ・ 中華人民共和国産レイシの生果実

(5) 温湯浸漬処理及びくん蒸処理

- ・ 台湾産ソロ種パパイヤの生果実

(6) システムズアプローチ

- ・ タイ産マンゴスチンの生果実

## 1 1. 諸外国における輸入検疫措置

(1) 輸入禁止措置

大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止している (APQA, 2020; MICAF, 2005)。

(2) 検疫措置

別紙4参照。

## II 病害虫リスクアナリシスの結果

### 第1 開始（ステージ1）

#### 1. 開始

*Bactrocera dorsalis* species complex に対する現行の検疫措置の有効性を検討するため、病害虫リスクアナリシスを実施する。

#### 2. 対象となる有害動植物

*Bactrocera dorsalis* species complex を対象とする。なお、本種群の中で特に経済的に重要な種とされている *B. carambolae*、*B. caryeae*、*B. dorsalis*（シノニム：*B. invadens*、*B. papayae*、*B. philippinensis*）、*B. kandiensis*、*B. occipitalis*、*B. pyrifoliae* の情報を中心に生物学的情報を取りまとめた。

#### 3. 対象となる経路

リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報の「2. 地理的分布」に示す「国又は地域」からの「3. 寄主植物及びその日本国内での分布」に示す「寄主植物」であって、「4. 寄生部位及びその症状」に示す「寄生部位」を含む植物を対象とする。

#### 4. 対象となる地域

日本全域を対象とする。

#### 5. 開始の結論

本種群を開始点とし、その発生地域から輸入される植物を経路とした日本全域を対象とする病害虫リスクアナリシスを開始する。

## 第2 病害虫リスク評価（ステージ2）

### 1. 有害動植物の類別

ステージ1で特定された有害動植物について、国内における発生及び公的防除の有無、定着及びまん延の潜在性並びに経済的影響を及ぼす潜在性について調査し、検疫有害動植物となる潜在性を有するかを検討する。なお、以下の（1）から（3）の評価項目を満たしていない場合は、それが判明した時点で評価を中止できるものとする。

#### （1）有害動植物の国内での発生の有無及び公的防除の有無等

*Bactrocera dorsalis* species complex は、国内未発生である。

#### （2）定着及びまん延の潜在性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等は、47 都道府県で栽培されていることから、本種群が国内に入り込んだ場合、定着及びまん延するおそれがある。

#### （3）経済的影響を及ぼす潜在性

本種群は寄主範囲が広く、寄主植物の果実の果皮下に卵を産み、幼虫が果実を加害することにより、発生国において多くの被害報告がある。

したがって、本種群は国内未発生であるが、国内に入り込み、定着及びまん延した場合、経済的影響を及ぼすおそれがある。

#### （4）評価にあたっての不確実性

特になし。

#### （5）有害動植物の類別の結論

本種群は国内未発生であるが、カボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等の寄主植物は国内で広く栽培される。また、本種群は果実へ産卵し、幼虫が果実を加害することによる被害報告があることから、国内においても経済的影響を及ぼすことは否定できない。

したがって、本種群は、検疫有害動植物となる潜在性を有することから、引き続き「2. 農業生産等への影響の評価」で評価を行う。

## 2. 農業生産等への影響の評価

### （1）定着の可能性の評価

ア リスクアナリシスを実施する地域における潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

#### （ア）潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

本種群は広食性で、寄主植物は国内で広く栽培又は自生しており、施設栽培も盛んに行われている。野外での成虫の生存期間は数か月と長い。さらに、*B. dorsalis* は、過去に東京都小笠原諸島、鹿児島県奄美群島及び沖縄県に定着したことがある。このため、本種群は、国内で生活環を維持できる。

#### （イ）リスクアナリシスを実施する地域における中間宿主の利用可能性

本種群は有害動物のため、評価しない。

#### （ウ）潜在的検疫有害動植物の繁殖戦略

本種群は、両性生殖を行い、雌成虫は果実に1回当たり十数個産卵し、1生涯で数百個産卵することが報告されている。よって、評価基準に基づき2点と評価した。

イ リスクアナリシスを実施する地域における寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

(ア) 寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等の多くは、47都道府県で栽培されており、本種群にとって好適な環境が日本全域に存在することから、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の寄主又は宿主範囲の広さ

本種群が寄生する植物の科は、アカテツ科、アカネ科、ウルシ科、オトギリソウ科、カキノキ科、カタバミ科、クロウメモドキ科、クワ科、サボテン科、トケイソウ科、ナス科、バショウ科、バラ科、バンレイシ科、フトモモ科、マメ科、ミカン科、ムクロジ科、ヤシ科等が知られており、寄主植物の範囲は非常に幅広い。

(ウ) 有害動植物の侵入歴

本種群は、旧北区、東洋区、エチオピア区、オセアニア区及び新熱帯区の5区に分布する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

ウ 定着の可能性の評価結果

評価した項目の評価点の平均から、定着の可能性の評価点は5点満点中の4点となった。

(2) まん延の可能性の評価

ア 自然分散（自然条件における潜在的検疫有害動植物の分散）

(ア) 移動距離

成虫は飛翔し、長距離移動することが知られている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 年間世代数

発育期間は温度等の影響を受け変動するが、卵は産卵後1～数日以内にふ化する。幼虫の発育期間は6～35日間で、老熟幼虫になると果実から脱出し土中で蛹化する。蛹期間は10～12日間で、成虫は1年を通じて発生し、羽化後8～12日で交尾し、1～3か月生存する。

発育零点及び有効積算温度から推定される国内各地における年間世代数は、札幌2世代、仙台3世代、東京4世代、鹿児島5世代、那覇8世代である。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

イ 人為分散

(ア) 農作物を介した分散

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス等は、47都道府県で栽培されており、寄生部位である果実は商品として流通する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 非農作物を介した分散

非農作物を介した重要な人為的分散手段については知られていない。よって、本項目は評価しない。

ウ まん延の可能性の評価結果

評価した項目の評価点の平均から、まん延の可能性の評価点は5点満点中の5点となった。

た。

### (3) 経済的重要性の評価

#### ア 直接的影響

##### (ア) 影響を受ける農作物又は森林資源

本種群の寄主植物には、カキ、カンキツ類、スモモ、トマト、ナシ、ビワ、マンゴウ、モモ等が含まれ、影響を受ける農作物の産出額の合計は1兆4,215.6億円であることから、評価基準に基づき4点と評価した。

##### (イ) 生産への影響

本種群の寄主植物であるカキ、カンキツ類、スモモ、トマト、ナシ、ビワ、マンゴウ、モモ等は国内で栽培されており、生産農業所得統計の対象とされている。また、防除をしていない果実は100%の被害に達する場合もあるとの報告がある。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

##### (ウ) 防除の困難さ

国内では、過去に、誘引剤を用いた雄除去法等による*B. dorsalis*の根絶防除事業を実施し、防除開始から18年の歳月と総額50億円の直接防除費用（人件費除く。）をかけ、1986年に根絶に成功した事例がある。

##### (エ) 直接的影響の評価結果

上記2項目の評価点の積は16点となり、評価基準に基づき直接的影響の評価点は4点となった。

#### イ 間接的影響

##### (ア) 農作物の政策上の重要性

寄主植物であるウンシュウミカン、リンゴ、ナシ等は「農業保険法」及び「同法施行令」で定める果樹・農作物に該当し、キュウリ、トマト、ナスは「野菜生産出荷安定法施行令」で定める指定野菜に該当する。また、カンキツ類、モモ等は「果樹農業振興特別措置法施行令」で定める果樹に該当するため、評価基準に基づき1点と評価した。

##### (イ) 輸出への影響

大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis*等の寄主植物の輸入を禁止している。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

#### ウ 経済的重要性の評価結果

直接的影響の評価点と間接的影響の評価点の和から、経済的重要性の評価点は5点満点中の5点となった。

### (4) 評価における不確実性

本種群の寄主範囲は非常に広いことが知られており、影響を受ける植物については不確実性を伴う。

### (5) 農業生産等への影響評価の結論（病虫害固有のリスク）

定着及びまん延の可能性並びに経済的重要性の3項目の評価点の積は100点となり、本種群の農業生産等への影響の評価を「高い」と結論付けた。

### 3. 入り込みの可能性の評価

項目	評価における判断の根拠等		
(1) 寄生部位	卵は寄主植物の果皮下に産み付けられ、幼虫は果実内を加害する。		
(2) 国内に入り込む可能性のある経路	経路は、〔消費生植物〕が考えられる。		
	用途	部位	経路となる可能性
	ア 消費生植物	果実	○
(3) 寄主植物の輸入検査量	別紙3参照		

#### (4) 入り込みの可能性の評価

##### ア 消費生植物

(ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

原産地で本種群の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

卵の大きさは長さ 0.8~1.37 mm、幅 0.2~0.24 mm で寄主植物の果実の果皮下に産み付けられる。幼虫は果実内を加害し、大きさは 1.2~11.0 mm である。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス等は、47都道府県で栽培されている。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

成虫は飛翔し、長距離移動することが知られている。よって、評価基準に基づき3点と評価した。

(オ) 評価における不確実性

特になし。

#### 消費生植物の入り込みの可能性の評価の結論

評価を行った項目の評価点の平均値は 4.3 点（小数第二位を四捨五入）であり、消費生植物を経路とした場合の本種群の入り込みの可能性の評価を「高い」と結論付けた。

### 4. *Bactrocera dorsalis* species complex の病害虫リスク評価の結論

本種群は検疫有害動物であり、消費生植物を経路として入り込み、農業等へ影響を及ぼす可能性がある」と評価した。

農業生産等への影響評価の結論 (病害虫固有のリスク)	入り込みの可能性の評価		病害虫リスク評価の結論
	用途	結論	
高い	ア 消費生植物	高い	高い

### 第3 病害虫リスク管理（ステージ3）

病害虫リスク評価の結果、*Bactrocera dorsalis* species complex はリスク管理措置が必要な検疫有害動物であると判断されたことから、ステージ3において、発生国からの寄主植物の輸入に伴う本種群の入り込みの可能性を低減するための適切な管理措置について検討する。

#### 1. *Bactrocera dorsalis* species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討

選択肢	方法	有効性及び実行可能性の検討	実施主体 (時期)	有効性	実行 可能性
①病害虫無発生地域の設定及び維持	ISPM（植物検疫に関する国際基準）4及び26に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ● ISPMに基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地域であれば、有効である。  〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切に管理されることが必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前)	○	○
②病害虫無発生の生産地又は生産用地の設定及び維持	ISPM 10に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ● ISPMに基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生の生産地又は生産用地であれば、有効であるが、当該生産地又は生産用地に本種群が入り込まないことを確実にする必要がある。 ● しかし、本種群の成虫は最大65km飛翔した記録があり、飛翔能力が高いため、病害虫無発生の生産地又は生産用地の設定及び維持は困難である。	輸出国 (輸出前)	×	—
③システムズアプローチ	ISPM 14及び35に基づき実施する。	複数の管理措置の組み合わせであるシステムズアプローチについての有効性及び実行可能性については、輸出国から具体的に提案される管理措置の内容を検討する必要がある。	輸出国 (輸出前)	—	—
④栽培地検査	栽培期間中に生育場所において植物の症状等を観察す	〔有効性〕 ● 卵は果実の果皮下に産み付けられ、表面には産卵痕を生じる。	輸出国 (栽培中)	▽	○

	る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● しかし、卵及び幼虫は内部に寄生するため、寄生初期段階では発見が極めて困難なことから、効果は限定的である。</li> </ul> <p>〔実行可能性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 輸出国において適切に検査されることが条件であるが、実行可能と考えられる。</li> </ul>			
⑤熱処理、低温処理、くん蒸処理（リン化水素、臭化メチル等）及び放射線照射処理		<p>〔有効性〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● アメリカ合衆国、オーストラリア及びニュージーランドは、多くの果実について、<i>Bactrocera dorsalis</i> 等を対象に熱処理（蒸熱処理）基準を設定している。</li> <li>● アメリカ合衆国は、ハワイ産パパイヤ等の果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に熱処理（強制通風加熱処理）基準を設定している。</li> <li>● アメリカ合衆国は、ハワイ産レイシ及びリュウガンの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に熱処理（温湯浸漬処理）基準を設定している。</li> <li>● ISPMでは、パパイヤの果実について、<i>B. dorsalis</i> を対象に熱処理（蒸熱処理）基準が設定されている（ISPM 28 Annex 32）。</li> <li>● アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランド及びインドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に低温処理基準を設定している。</li> <li>● アメリカ合衆国、ニュージーランド、台湾及びインドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に臭化メチルくん蒸処理基準を設定している。</li> </ul>	輸出国（輸出前）	○	○ （臭化メチルくん蒸処理及び放射線照射処理▽）

		<ul style="list-style-type: none"> <li>●アメリカ合衆国及びニュージーランドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i>等を対象に放射線照射処理基準を設定している。</li> <li>●ISPMでは、ミバエ科 (Tephritidae) 及び <i>B. dorsalis</i> の寄主植物 (果実及び野菜) について、放射線照射処理基準 150Gy 及び 116Gy がそれぞれ設定されている (ISPM 28 Annex 7 及び Annex 33)。</li> <li>●処理基準については、そのまま本種へ適用できるか、補完的に別な措置も適用して実施できるかについては、個別案件ごとに別途検討する必要がある。</li> </ul> <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出国において適切に処理されることが必要であるが、実行可能と考えられる。</li> <li>●輸出国によっては、臭化メチルくん蒸が認められていない可能性がある。</li> <li>●日本において、食用植物への放射線照射処理は、食品衛生法 (厚生省, 1947) に基づきバレイシヨの発芽防止を除いて認められていない。</li> </ul>			
⑥検査証明書への追記	輸出国での目視検査の結果、本種群が寄生していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。	<p>[有効性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●卵は果皮の下に産み付けられ、果実表面には産卵痕を生じる。</li> <li>●しかし、寄生初期段階では発見が極めて困難であるため、効果は限定的である。</li> </ul> <p>[実行可能性]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●輸出国において適切な検査が行われることが必要であるが、実行可能と考えられ</li> </ul>	輸出国 (輸出時)	▽	○

		る。			
⑦輸出入検査 (目視検査)	植物の症状等 を確認する。	〔有効性〕 ●卵は果皮の下に産み付けられ、果実表面には産卵痕を生じる。 ●しかし、寄生初期段階では発見が極めて困難であるため、効果は限定的である。  〔実行可能性〕 ●輸出入国において通常実施されている検査であり、実行可能である。	輸出国 (輸出時)  輸入国 (輸入時)	▽  ▽	○  ○
⑧隔離栽培中の検査	輸入後、国内の施設において一定期間栽培し、寄生の有無を確認する。	〔有効性〕 ●本種群が入り込む可能性のある経路は消費生植物(果実)のため、輸入後に一定期間の栽培による寄生の有無の確認は有効ではない。	輸入国 (輸入後)	×	—

- 有効性  
○：効果が高い  
▽：限定条件下で効果がある  
×：効果なし  
—：検討しない
- 実行可能性  
○：実行可能  
▽：限定条件下で実行可能  
×：実行困難  
—：検討しない

## 2. 経路ごとの *Bactrocera dorsalis* species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討

### (1) 消費生植物(果実)

#### ア 検討結果

病害虫無発生地域の設定及び維持(選択肢①)は、本種群の入り込みの可能性に対して有効な管理措置である。しかしながら、病害虫無発生地域の設定及び維持の方法については、寄主植物の栽培環境、病害虫管理等を含む各種要因に影響を受けるため、個別案件ごとに具体的な内容を輸出国植物防疫機関が示し、日本側がその許諾を判断する必要がある。

熱処理、低温処理及び臭化メチルくん蒸処理(選択肢⑤)は、科学的に有効であることが証明された処理であれば、有効な管理措置である。

なお、管理措置の特定に当たっては、本種群は、寄主植物の広さ、その加害能力及び市場への潜在的影響から大きな脅威と捉えられ、大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止し、他の多くの国及び地域でも輸出国での熱処理等の実施が求められていることを考慮する必要がある。

#### イ リスク管理措置の特定

消費生植物（果実）に対する管理措置として、本種群の入り込みの可能性を低減させることが可能であり、かつ、必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下を特定した。なお、以下のいずれかの管理措置を実施する必要がある。

- 輸出国（輸出前）において、輸出国植物防疫機関が ISPM に基づき設定、維持及び管理された病害虫無発生地域で輸出対象植物を生産し、その旨を検査証明書に追記する。
- 輸出国（輸出前等）において、以下の処理のうち、ISPM 28 の付属書で採択されている処理基準又は2国間合意等による処理基準を適用し、その旨を検査証明書に追記する。
  - ・ 熱処理
  - ・ 低温処理
  - ・ くん蒸処理（リン化水素、臭化メチル等）

なお、上記の管理措置については、日本が求める水準を満たすとともに、確実な実施に関して担保をとる必要がある場合は、2国間合意に基づく必要がある。

また、輸出国において上記の管理措置を的確に講ずることが困難であり、本種群の入り込みの可能性が十分に低減されないと判断できる場合は、輸入禁止措置を講ずる必要がある。

*Bactrocera dorsalis* species complex の発生国等の根拠

国又は地域	ステータス	根拠文献	備考
アジア			
インド	発生	CABI, 2020	
Assam	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Bihar	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Chhattisgarh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Delhi	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Goa	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Gujarat	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Himachal Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Jammu and Kashmir	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Karnataka	発生	CABI, 2020	
Kerala	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Madhya Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Maharashtra	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Manipur	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Mizoram	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Odisha	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Punjab	発生	CABI, 2020	
Rajasthan	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sikkim	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Tamil Nadu	発生	CABI, 2020	
Uttar Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Uttarakhand	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
West Bengal	発生	CABI, 2020	
インドネシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Irian Jaya	発生	CABI, 2020	
Java	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Lesser Sunda Islands	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sulawesi	発生	CABI, 2020	
Sumatra	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
カンボジア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
シンガポール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
スリランカ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
タイ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
台湾	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中華人民共和国	発生	CABI, 2020	
安徽省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
雲南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
海南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	

広東省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
貴州省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
江西省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
広西チワン族自治区	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
江蘇省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
湖南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
湖北省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
四川省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
上海市	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
重慶市	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
浙江省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
チベット自治区	発生	CABI, 2020	
福建省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マカオ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ネパール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
パキスタン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
バングラデシュ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
東ティモール	発生	CABI, 2020	
フィリピン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブータン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルネイ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ベトナム	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
香港	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マレーシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Peninsular Malaysia	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sabah	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sarawak	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ミャンマー	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ラオス	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中東			
オマーン	発生	CABI, 2020; Elwan, 2000; EPPO, 2021; MAF, 2018; White, 2006	
欧州			
アゼルバイジャン	発生	2024年に農林水産省植物防疫所の輸入検査で発見	
アフリカ			
アンゴラ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ウガンダ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エスワティニ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エチオピア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エリトリア	発生	Hussain et al., 2015; CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガーナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
カーボベルデ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガボン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	

カメルーン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガンビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ギニアビサウ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ケニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コートジボアール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コモロ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コンゴ共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コンゴ民主共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ザンビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
シエラレオネ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ジンバブエ	発生	Mafirakurewa et al., 2016; Musasa et al. 2019; CABI, 2020; EPPO, 2020	
スーダン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
赤道ギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
セネガル	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
タンザニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
チャド	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中央アフリカ共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
トーゴ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ナイジェリア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ナミビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ニジェール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルキナファソ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルンジ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ベナン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ボツワナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マイヨット島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マダガスカル	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マラウイ	発生	BEBIF, 2016; EPPO, 2021	
マリ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
南アフリカ共和国	発生	EPPO, 2020; NPPO of SA, 2020a; NPPO of SA, 2020b	
モザンビーク	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
モーリシャス	発生	Sookar et al., 2020; EPPO, 2021	
モーリタニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
リベリア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ルワンダ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
レユニオン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中南米			
ガイアナ	発生	EPPO, 2024; Malavasi et al., 2013	
スリナム	発生	Sauers-Muller, 2005; CABI, 2020; EPPO, 2020	
フランス領ギアナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
大洋州			

オーストラリア領クリスマス島	発生	Queensland Government, 2020; CABI, 2020; EPPO, 2020	
北マリアナ諸島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	ミクロネシア
グアム	未発生（根絶）	CABI, 2020	
ナウル	発生	CABI, 2020	ミクロネシア
パプアニューギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
パラオ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	ミクロネシア
ハワイ諸島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
フランス領ポリネシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	ポリネシア

*Bactrocera dorsalis* species complex の寄主植物の根拠

学名	科名	属名	和名	英名	根拠文献	備考
<i>Theobroma cacao</i>	アオギリ科	カカオノキ属	カカオノキ	cacao	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Isabirye et al., 2016	
<i>Pouteria caimito</i>	アカテツ科	アカテツ属	アビウ	abiu	Lemos et al., 2014	
<i>Pouteria campechiana</i> (= <i>Lucuma nervosa</i> , <i>Lucuma rivicoa</i> , <i>Richardella campechiana</i> )	アカテツ科	アカテツ属	カニステル	canistel	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; CABI, 2018b; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Badli et al., 2015; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo et al., 2010	
<i>Pouteria dukitan</i>	アカテツ科	アカテツ属			Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Pouteria macrophylla</i>	アカテツ科	アカテツ属			Lemos et al., 2014	
<i>Pouteria sapota</i>	アカテツ科	アカテツ属	ポウテリア・アポタ	mammy sapote	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Chrysophyllum albidum</i>	アカテツ科	オーガストノキ属	クリソフィラム・アルビドウム	white star apple	CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Chrysophyllum cainito</i>	アカテツ科	オーガストノキ属	スイショウガキ	star apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; N'dépo et al., 2010; Meyer et al., 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Chrysophyllum oliviforme</i> (= <i>Chrysophyllum monopyrenum</i> )	アカテツ科	オーガストノキ属	クリソフィラム・オリビフォルム	satinleaf	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Manilkara littoralis</i>	アカテツ科	サポジラ属			Allwood et al., 1999	
<i>Manilkara zapota</i> (= <i>Achra sapota</i> ,	アカテツ科	サポジラ属	サポジラ	sapodilla	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら,	

<i>Achras zapota</i> , <i>Manilkara achras</i> )					2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauersmuller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Lemos et al., 2014; Isabirye et al., 2016; N'dépo et al., 2010
<i>Vitellaria paradoxa</i> (= <i>Butyrospermum parkii</i> )	アカテツ科	シアーバター ノキ属	シアーバター ノキ	shea butter tree	CABI, 2020; N'dépo et al., 2010; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al. 2015
<i>Palaquium</i>	アカテツ科	パラクイウム 属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Palaquium maingayi</i>	アカテツ科	パラクイウム 属	パラクイウ ム・メインガ イ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Planchonella</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Planchonella duclitan</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属			CABI, 2020
<i>Planchonella longipetiolatum</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属			Allwood et al., 1999
<i>Mimusops elengi</i> (= <i>Mimusops parvifolia</i> )	アカテツ科	ミムソプス属	ミサキノハナ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992
<i>Ixora javanica</i>	アカネ科	サンタンカ属	イクソラ・ジ ャワニカ (ジ ャワサンタン カ)		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Ixora macrothyrsa</i>	アカネ科	サンタンカ属	イクソラ・マ クロティルサ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Ochreinaucea maingayi</i>	アカネ科	オクレイナウ クレア属	オクレイナウ クレア・メイ ンゲイイ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999

<i>Coffea arabica</i>	アカネ科	コーヒーノキ属	アラビアコーヒー	arabica coffee	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Okawa, 1991; Harris et al., 2003; Meyer et al., 2014; Isabirye et al., 2016	
<i>Coffea canephora</i>	アカネ科	コーヒーノキ属	ロブスタコーヒー	robusta coffee	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Meyer et al., 2014	
<i>Coffea liberica</i>	アカネ科	コーヒーノキ属	リベリアコーヒー	Liberian coffee	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Sarcocephalus latifolius</i> (= <i>Nauclea esculenta</i> , <i>Nauclea latifolia</i> )	アカネ科	サルコセファルス属	ネグロモモ		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Nauclea orientalis</i> (= <i>Sarcocephalus cordatus</i> )	アカネ科	ナウクレア属	ナウクレア・オリエンタリス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Breonia chinensis</i> (= <i>Cephalanthus chinensis</i> , <i>Anthocephalus chinensis</i> )	アカネ科	ブレオニア属	ブレオニア・キネンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Morinda citrifolia</i> (= <i>Morinda elliptica</i> )	アカネ科	ヤエヤマアオキ属	ヤエヤマアオキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Flacourtia indica</i> (= <i>Flacourtia ramontchi</i> )	イイギリ科	フラクールティア属	テンジクイヌカンコ	governor's plum	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; Meyer et al., 2014	
<i>Flacourtia rukam</i>	イイギリ科	フラクールティア属	フラクールティア・ルカム		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diplocyclos palmatus</i> (= <i>Bryonopsis laciniosa</i> )	ウリ科	オキナワスズメウリ属	オキナワスズメウリ		内川ら, 2010	
<i>Cucurbita argyrosperma</i> (= <i>Cucurbita mixta</i> )	ウリ科	カボチャ属	ククルビタ・アルギロスペルマ	cushaw pumpkin	Vargas et al., 2010	
<i>Cucurbita maxima</i>	ウリ科	カボチャ属	セイヨウカボチャ		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物

						であるとの報告があるのみ。
<i>Cucurbita pepo</i>	ウリ科	カボチャ属	ペポカボチャ	summer squash	CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Liquido et al., 1994	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (= <i>Trichosanthes ovigera</i> )	ウリ科	カラスウリ属	カラスウリ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010	
<i>Cucumis melo</i> (= <i>Bryonia collosa</i> )	ウリ科	キュウリ属	メロン	melon	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Vargas et al., 2010; Isabirye et al., 2016	
<i>Cucumis sativus</i>	ウリ科	キュウリ属	キュウリ	cucumber	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; Mwatawala et al., 2006; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015	
<i>Kedrostis hirtella</i>	ウリ科	ケドロステス属	ケドロステス・ヒルテラ		Ndiaye et al., 2012	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Coccinia grandis</i> (= <i>Coccinia indica</i> , <i>Cephalandra indica</i> )	ウリ科	コッキニア属	コッキニア・グランディス (ヤサイカラスウリ)	ivy gourd	CABI, 2020; Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; EPPO, 2020	
<i>Citrullus colocynthis</i>	ウリ科	スイカ属	コロシントウリ		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Citrullus vulgaris</i> (= <i>Citrullus lanatus</i> )	ウリ科	スイカ属	スイカ	watermelon	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015	

<i>Zehneria liukuensis</i>	ウリ科	スズメウリ属	クロミノオキ ナワスズメウ リ		内川ら, 2010	
<i>Momordica balsamina</i>	ウリ科	ニガウリ属	モモルディ カ・バルサミ ナ	balsam apple	Vargas et al., 2010; Ndiaye et al., 2012	
<i>Momordica charantia</i>	ウリ科	ニガウリ属	ニガウリ	bitter gourd	CABI, 2020; Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Lagenaria siceraria</i> (= <i>Lagenaria leucantha</i> )	ウリ科	ユウガオ属	ユウガオ	bottle gourd	CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Luffa acutangula</i>	ウリ科	ヘチマ属	トカドヘチマ	ridge gourd	Badii et al., 2015	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Luffa cylindrica</i> (= <i>Luffa aegyptiaca</i> )	ウリ科	ヘチマ属	ヘチマ	sponge gourd	Badii et al., 2015; EPPO, 2020	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> ( <i>B. invadens</i> ) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Alangium chinense</i>	ウリノキ科	ウリノキ属	アランギウ ム・キネンセ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Alangium salviifolium</i>	ウリノキ科	ウリノキ属	アランギウ ム・サルウィ ーフォリウム	plu	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Bouea macrophylla</i> (= <i>Bouea gandaria</i> )	ウルシ科	アカタネノキ 属	アカタネノキ	gandaria	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	

<i>Bouea oppositifolia</i>	ウルシ科	アカタネノキ属	ヒメアカタネノキ	plum mango	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Anacardium occidentale</i>	ウルシ科	カシューナットノキ属	カシューナッツ	cashew	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Sclerocarya birrea</i>	ウルシ科	スクレロカリア属	スクレロカリア・ビレア	marula	Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016; CABI, 2020	
<i>Spondias dulcis</i> (= <i>Spondias cytherea</i> )	ウルシ科	ニンメンシ属	タマゴノキ		Allwood et al., 1999; CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Mwatawala et al., 2006; Meyer et al., 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005;	
<i>Spondias mombin</i> (= <i>Spondias axillaris</i> , <i>Spondias lutea</i> )	ウルシ科	ニンメンシ属	コガネモンビン	yellow mombin	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Goergen et al., 2011; Okawa, 1991; Sauers-muller, 2005; Ndiaye et al., 2012; Almeida et al., 2016; Meyer et al., 2014	
<i>Spondias pinnata</i>	ウルシ科	ニンメンシ属	アムラタマゴノキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Spondias purpurea</i>	ウルシ科	ニンメンシ属	モンビン	red mombin	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Haematostaphis barteri</i>	ウルシ科	ハエマトスタフィス属	ハエマトスタフィス・バーテリ		Badii et al., 2015	
<i>Holigama kurzii</i>	ウルシ科	ホリガルナ属	ホリガルナ・クルツィー		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Mangifera caesia</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ビンジャイマンゴウ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Mangifera caloneura</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood et al. 1999	
<i>Mangifera foetida</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ウママンゴウ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mangifera griffithii</i>	ウルシ科	マンゴウ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Mangifera indica</i>	ウルシ科	マンゴウ属	マンゴウ	mango	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Sauers-muller, 2005; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas et al., 2010; N'dépo et al., 2010; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Ndiaye et al., 2012; Lemos et al., 2014; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabiye et al., 2016	
<i>Mangifera laurina</i>	ウルシ科	マンゴウ属	マンギフェ ラ・ローリー ナ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Mangifera longipetiolata</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood et al., 1999	
<i>Mangifera odorata</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ニオイマンゴ ウ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mangifera pajang</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood et al., 1999	
<i>Calophyllum inophyllum</i>	オトギリソ ウ科	テリハボク属	テリハボク	Alexandrian laurel	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Garcinia atroviridis</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	グルグル		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia cowa</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	コーワガンボ ジ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia dioica</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	ムムンジン		CABI, 2020	
<i>Garcinia dulcis</i>	オトギリソ	フクギ属	オオバノマン		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Sauers-muller, 2005	

	ウ科		ゴスチン			
<i>Garcinia griffithii</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia hombroniana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	ハママンゴス チン		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Garcinia mangostana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	マンゴスチン	mangosteen	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産 省植物防疫所, 2018b	
<i>Garcinia mannii</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	ガルシニア・ マンニイ		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Garcinia parvifolia</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia prainiana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	ボタンマンゴ スチン		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia</i> sp.	オトギリソ ウ科	フクギ属			Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia speciosa</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Garcinia subelliptica</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	フクギ		内川ら, 2010	
<i>Garcinia xanthochymus</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	キヤニモモ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mammea siamensis</i>	オトギリソ ウ科	マンメア属	マンメア・シ アメンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros areolata</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros blancoi</i>	カキノキ科	カキ属	ケガキ	mabolo	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Diospyros castanea</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros diepenhorstii</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Diospyros egbert-walkeri</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウ コクタン		内川ら, 2010	
<i>Diospyros glandulosa</i>	カキノキ科	カキ属			Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros japonica</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウ マメガキ		内川ら, 2010	
<i>Diospyros kaki</i>	カキノキ科	カキ属	カキ	persimmon	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; Meyer et al., 2014; White and Elson- Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Diospyros malabarica</i>	カキノキ科	カキ属	インドガキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros maritima</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウ ガキ		内川ら, 2010	
<i>Diospyros mespiliformis</i>	カキノキ科	カキ属	アフリカガキ		Badli et al., 2015	
<i>Diospyros mollis</i>	カキノキ科	カキ属	タイコクタン		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros montana</i>	カキノキ科	カキ属	ディオスピロ ス・モンタナ		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Diospyros philippensis</i>	カキノキ科	カキ属			Allwood et al., 1999	
<i>Diospyros roxburghii</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020	
<i>Diospyros utilis</i>	カキノキ科	カキ属	タイワンコク タン		農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Averrhoa bilimbi</i>	カタバミ科	ゴレンシ属	ナガバノゴレ ンシ	bilimbi	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫 所, 2018b	
<i>Averrhoa carambola</i>	カタバミ科	ゴレンシ属	ゴレンシ	carambola	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; N'dépo et al., 2010; 農林水産省植物防疫 所, 2018b; Goergen et al., 2011; Meyer et al.,	

					2014; Lemos et al., 2014	
<i>Opilia amentacea</i>	カナビキボク科	オピリア属	オピリア・アメントケア		Badli et al., 2015	
<i>Carissa carandas</i>	キョウチクトウ科	カリッサ属	カリッサ・カランダス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Carissa macrocarpa</i>	キョウチクトウ科	カリッサ属	オオバナカリッサ	Natal plum	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Carissa spinarum</i> (= <i>Carissa cochinchinensis</i> , <i>Carissa ovata</i> )	キョウチクトウ科	カリッサ属	カリッサ・スピナルム		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Thevetia peruviana</i> (= <i>Cascabela thevetia</i> , <i>Cerbera thevetia</i> , <i>Thevetia nerifolia</i> )	キョウチクトウ科	キバナキョウチクトウ属	キバナキョウチクトウ	yellow oleander	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Meyer et al., 2014; EPPO, 2020;	
<i>Saba comorensis</i>	キョウチクトウ科	サバ属	サバ・コモレンシス		Badli et al., 2015	
<i>Saba senegalensis</i>	キョウチクトウ科	サバ属	サバ・セネガレンシス	saba nut	Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badli et al., 2015; CABI, 2020	
<i>Malpighia emarginata</i>	キントラノオ科	ヒイラギトラノオ属		acerola	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Lemos et al., 2014	
<i>Malpighia glabra</i> (= <i>Malpighia puniceifolia</i> )	キントラノオ科	ヒイラギトラノオ属	アセロラ	acerola	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005	
<i>Malpighia</i> spp.	キントラノオ科	ヒイラギトラノオ属			農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Cinnamomum yabunikkei</i> (= <i>Cinnamomum japonicum</i> , <i>Cinnamomum tenuifolium</i> )	クスノキ科	クスノキ属	ヤブニッケイ		内川ら, 2010	
<i>Neolitsea sericea</i>	クスノキ科	シロダモ属	シロダモ		内川ら, 2010	
<i>Machilus thunbergii</i>	クスノキ科	タブノキ属	タブノキ		内川ら, 2010	
<i>Litsea japonica</i>	クスノキ科	ハマビワ属	ハマビワ		内川ら, 2010	

<i>Persea americana</i>	クスノキ科	ワニナシ属	アボカド	avocado	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Isabirye et al., 2016	
<i>Gnetum gnemon</i>	グネツム科	グネツム属	グネツム・グネモン		Okawa, 1991; Yong et al., 2014	
<i>Gmelina elliptica</i>	クマツヅラ科	グメリナ属	グメリナ・エリプティカ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Gmelina philippensis</i>	クマツヅラ科	グメリナ属	グメリナ・フィリッペンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Elaeagnus</i>	グミ科	グミ属			農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Chrysobalanus icaco</i>	クリソバラヌス科	クリソバラヌス属	クリソバラヌス・イカコ	coco plum	White and Elson-Harris, 1992; Lemos et al., 2014	
<i>Licania</i> sp.	クリソバラヌス科	リカニア属			Almeida et al., 2016	
<i>Parinari anamensis</i>	クリソバラヌス科	パリナリ属	パリナリ・アナメンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Ziziphus jujuba</i> (= <i>Ziziphus vulgaris</i> , <i>Ziziphus sativa</i> )	クロウメモドキ科	ナツメ属	サネブトナツメ	jujube	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Sauers-muller, 2005	
<i>Ziziphus mauritiana</i>	クロウメモドキ科	ナツメ属	インドナツメ	Indian jujube	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014	
<i>Ziziphus mucronata</i>	クロウメモドキ科	ナツメ属			Badii et al., 2015	
<i>Ziziphus nummularia</i> (= <i>Ziziphus rotundifolia</i> )	クロウメモドキ科	ナツメ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Ziziphus oenopolia</i>	クロウメモ ドキ科	ナツメ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Icacina senegalensis</i>	クロタキカ ズラ科	イカキナ属	イカキナ・セ ネガレンシス		Badli et al., 2015	
<i>Ficus benjamina</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・ベン ジャミナ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Ficus carica</i>	クワ科	イチジク属	イチジク	common fig	White and Elson-Harris, 1992; Vargas et al., 2010	
<i>Ficus concatian</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・コン カティアン		Allwood et al., 1999	
<i>Ficus eligodon</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・エ リゴドン		Allwood et al., 1999	
<i>Ficus erecta</i>	クワ科	イチジク属	イヌビワ		内川ら, 2010	
<i>Ficus grossularioides</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・グ ロッサラリオ イデス		Allwood et al., 1999	
<i>Ficus hispida</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・ヒ スピダ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Ficus microcarpa</i>	クワ科	イチジク属	ガジュマル	Indian laurel	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Ficus ottoniifolia</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・オ ットニーフォ リア		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Ficus pumila</i>	クワ科	イチジク属	オオイタビ		内川ら, 2010	
<i>Ficus racemosa</i> (= <i>Ficus glomerata</i> )	クワ科	イチジク属	ウドンゲノキ	cluster tree	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Ficus septica</i>	クワ科	イチジク属	オオバイヌビ ワ		内川ら, 2010	
<i>Ficus sycomorus</i>	クワ科	イチジク属	イチジクグワ		Badli et al., 2015; CABI, 2020	

<i>Ficus virgata</i>	クワ科	イチジク属	ハマイヌビワ		内川ら, 2010	
<i>Morus alba</i>	クワ科	クワ属	トウグワ	white mulberry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus altiiis</i> (= <i>Artocarpus incisus</i> , <i>Artocarpus communis</i> )	クワ科	パンノキ属	パンノキ	breadfruit	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Badii et al., 2015; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Artocarpus elasticus</i>	クワ科	パンノキ属	ネバリパンノキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus heterophyllus</i> (= <i>Artocarpus integrifolia</i> )	クワ科	パンノキ属	パラミツ	jack fruit	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Artocarpus integer</i>	クワ科	パンノキ属	コパラミツ	oempedak	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Artocarpus lacucha</i> (= <i>Artocarpus lakoocha</i> )	クワ科	パンノキ属	ラクチパンノキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Artocarpus lanceifolius</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Artocarpus nitidus</i> (= <i>Artocarpus lanceolatus</i> )	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Artocarpus odoratissimus</i>	クワ科	パンノキ属	ニオイパンノキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Artocarpus rigidus</i>	クワ科	パンノキ属	カタトゲパンノキ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus sericarpus</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Punica granatum</i>	ザクロ科	ザクロ属	ザクロ	pomegranate	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Meyer et al., 2014	
<i>Hylocereus undatus</i> (= <i>Cereus undatus</i> )	サボテン科	ヒロセレウス属	ヒロセレウス・ウンダーツス	dragon fruit, red pitaya	CABI, 2020; 農林水産省植物防疫所, 2018b; 岩泉ら, 1995	

<i>Terminalia catappa</i>	シクンシ科	モモタマナ属	モモタマナ	Singapore almond	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Harris et al., 2003; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Okawa, 1991; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Microcos tomentosa</i> (= <i>Grewia paniculata</i> )	シナノキ科	ミクロコス属	ミクロコス・トメントサ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Alpinia mutica</i>	ショウガ科	ハナミョウガ属	アルピニア・ムティカ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Viburnum japonicum</i>	スイカズラ科	ガマズミ属	ハクサンボク		内川ら, 2010	
<i>Azadirachta excelsa</i>	センダン科	アザディラクタ属	アザディラクタ・エクセルサ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Sandoricum indicum</i> (= <i>Sandoricum koetjape</i> , (= <i>Sandoricum nervosum</i> )	センダン科	サンドリカム属	サントール	santol	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Heynea trijuga</i> (= <i>Walsura intermedia</i> )	センダン科	ヘイネア属	ヘイネア・トリジュガ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Lansium parasiticum</i> (= <i>Lansium domesticum</i> , <i>Aglaiia domestica</i> , <i>Aglaiia dookoo</i> )	センダン科	ランサ属	ランサット	langsats	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	
<i>Excoecaria agallocha</i>	トウダイグサ科	エクスコエカリア属	エクスコエカリア・アガロカ (シマシラキ)	tayaw	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Sauropus androgynus</i>	トウダイグサ科	サウロプス属	アマメシバ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Breynia racemosa</i> (= <i>Breynia reclinata</i> )	トウダイグサ科	タカサゴコバンノキ属	ブレイニア・ラケモサ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Bischofia javanica</i>	トウダイグサ科	ビィスチョフィア属	アカギ		内川ら, 2010	
<i>Baccaurea motleyana</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	ランバイ	rambai	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Baccaurea racemosa</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	バッカウレア・ラケモサ (メテング)		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Baccaurea ramiflora</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	バッカウレア・ラミフロラ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Baccaurea sapida</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	インドメテング	Burmese grape	農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	
<i>Passiflora edulis</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	クダモノトケイ	passion fruit	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye et al., 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Passiflora foetida</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	パッシフロラ・フェティータ (クサトケイソウ)		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Passiflora laurifolia</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	ミズレモン		CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Passiflora mollissima</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	モリシマトケイソウ		White and Elson-Harris, 1992	
<i>Passiflora quadrangularis</i> (= <i>Passiflora macrocarpa</i> )	トケイソウ科	トケイソウ属	オオミノトケイソウ	granadilla	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Passiflora suberosa</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	パッシフロラ・スベロサ		CABI, 2020	

<i>Capsicum annuum</i>	ナス科	トウガラシ属	トウガラシ	chili pepper, sweet pepper	CABI, 2020; Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Capsicum chinense</i>	ナス科	トウガラシ属			Lemos et al., 2014; CABI, 2020
<i>Capsicum frutescens</i>	ナス科	トウガラシ属	キダチトウガラシ		CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014
<i>Lycopersicon esculentum</i> (= <i>Solanum lycopersicum</i> )	ナス科	トマト属	トマト	tomato	CABI, 2020; Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Harris et al., 2003; Vargas et al., 2010; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016
<i>Solanum aculeatissimum</i>	ナス科	ナス属			Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999
<i>Solanum aethiopicum</i>	ナス科	ナス属	ヒラナス	scarlet eggplant	Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; CABI, 2020
<i>Solanum americanum</i>	ナス科	ナス属	テリミノイヌホオズキ		CABI, 2020; Vargas et al., 2010
<i>Solanum anguivi</i>	ナス科	ナス属	ソラヌム・アングイビ		Meyer et al., 2014; CABI, 2020
<i>Solanum auriculatum</i>	ナス科	ナス属			White and Elson-Harris, 1992
<i>Solanum capsicoides</i>	ナス科	ナス属	キンギンナスビ		CABI, 2020; 内川ら, 2010
<i>Solanum erianthum</i> (= <i>Solanum verbascifolium</i> )	ナス科	ナス属	ヤンバルナスビ		内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992
<i>Solanum ferox</i> (= <i>Solanum lasiocarpum</i> )	ナス科	ナス属			Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992
<i>Solanum granuloso-leprosum</i>	ナス科	ナス属			Allwood et al., 1999

<i>Solanum hazenii</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020	
<i>Solanum incanum</i> (= <i>Solanum coagulans</i> )	ナス科	ナス属			Allwood et al., 1999; Meyer et al., 2014; CABI, 2020	
<i>Solanum melongena</i>	ナス科	ナス属	ナス	eggplant	CABI, 2020; Liquido et al., 1994; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Badii et al., 2015	
<i>Solanum muricatum</i>	ナス科	ナス属	ペピーノ	pepino	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum nigrum</i>	ナス科	ナス属	イヌホオズキ	black nightshade	内川ら, 2010; Meyer et al., 2014	
<i>Solanum rudepannum</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020	
<i>Solanum seaforthianum</i>	ナス科	ナス属	ルリイロツル ナス		内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum sodomeum</i>	ナス科	ナス属			Meyer et al., 2014; CABI, 2020	
<i>Solanum stramonifolium</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Solanum torvum</i>	ナス科	ナス属	スズメナスビ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum trilobatum</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Physalis minima</i>	ナス科	ホオズキ属	フィサリス・ ミニマ		Allwood et al., 1999	
<i>Lycianthes biflora</i>	ナス科	リシアンセス 属	メジロホオズ キ		内川ら, 2010	
<i>Irvingia malayana</i>	ニガキ科	イルビンギア 属	イルビンギ ア・マラヤナ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Irvingia gabonensis</i>	ニガキ科	イルビンギア 属	イルビンギ ア・ガボネン シス (アフリ カマンゴノ キ)		CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Ndépo et al., 2010	
<i>Celtis tetrandra</i>	ニレ科	エノキ属	セルティス・ テトランドラ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Crescentia cujete</i>	ノウゼンカズラ科	クレスケンテ イア属	ヒョウタンノ キ	calabash tree	Badli et al., 2015	
<i>Musa acuminata</i> (= <i>Musa nana</i> )	バショウ科	バショウ属	ミバショウ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa balbisiana</i>	バショウ科	バショウ属	リュウキュウ イトバショウ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa sapientum</i>	バショウ科	バショウ属			内川ら, 2010	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa troglodytarum</i>	バショウ科	バショウ属	フェイバナナ		CABI, 2020	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa x paradisiaca</i> (= <i>Musa paradisiaca</i> )	バショウ科	バショウ属		plantain	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa</i>	バショウ科	バショウ属	バショウ属		CABI, 2020; Meyer et al., 2014; Isabiye et al., 2016	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Carica papaya</i>	パパイア科	パパイヤ属	パパイヤ	papaya	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas et al., 2010; Ndépo et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badli et al., 2015; Isabiye et al., 2016	
<i>Fragaria x ananassa</i>	バラ科	オランダイチ ゴ属	オランダイチ ゴ	strawberry	Iwaizumi et al., 1994; 朱・陳, 1985	
<i>Rubus croceacanthus</i>	バラ科	キイチゴ属	オオバライチ ゴ		内川ら, 2010	
<i>Prunus americana</i>	バラ科	サクラ属	アメリカスモ モ	American plum	農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Prunus armeniaca</i>	バラ科	サクラ属	アンズ	apricot	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	

<i>Prunus avium</i>	バラ科	サクラ属	セイヨウミザクラ	sweet cherry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Prunus campanulata</i> (= <i>Cerasus campanulata</i> )	バラ科	サクラ属	カンヒザクラ		内川ら, 2010
<i>Prunus cerasifera</i>	バラ科	サクラ属	ミロバラン モモ	myrobalan plum	White and Elson-Harris, 1992
<i>Prunus cerasoides</i>	バラ科	サクラ属	ヒマラヤザクラ		Allwood et al., 1999
<i>Prunus cerasus</i>	バラ科	サクラ属	スミノミザクラ	sour cherry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Prunus domestica</i>	バラ科	サクラ属	セイヨウスモモ	common plum	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas et al., 2010
<i>Prunus mume</i>	バラ科	サクラ属	ウメ	Japanese apricot	CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Prunus persica</i>	バラ科	サクラ属	モモ	peach	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Mwatawala et al., 2006; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Vargas et al., 2010; Meyer et al., 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Prunus salicina</i>	バラ科	サクラ属	ニホンスモモ	Japanese plum	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Pyrus communis</i>	バラ科	ナシ属	セイヨウナシ	European pear	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Pyrus pyrifolia</i> (= <i>Pyrus serotina</i> )	バラ科	ナシ属	ニホンナシ	Japanese pear	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Okawa, 1991
<i>Eriobotrya japonica</i> (= <i>Photinia japonica</i> )	バラ科	ビワ属	ビワ	loquat	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Allwood et al., 1999; Mwatawala et al., 2006; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b

<i>Cydonia oblonga</i>	バラ科	マルメロ属	マルメロ	quince	Isabirye et al., 2016; Akbar, 2019
<i>Malus domestica</i> (= <i>Pyrus malus</i> , <i>Malus pumila</i> )	バラ科	リンゴ属	リンゴ	apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Meyer et al., 2014
<i>Artabotrys monteiroae</i>	バンレイシ科	アルタボトリス属	アルタボトリス・モンテイロアエ		Badii et al., 2015
<i>Artabotrys siamensis</i>	バンレイシ科	アルタボトリス属	アルタボトリス・シアメンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Uvaria chamae</i>	バンレイシ科	ウバリア属	ウバリア・カマエ		Ndiaye et al., 2015
<i>Uvaria grandiflora</i>	バンレイシ科	ウバリア属	ウバリア・グランディフロラ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Desmos chinensis</i>	バンレイシ科	デスモス属	デスモス・キネンシス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Annona cherimola</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	チェリモヤ	cherimoya	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Rwomushana et al., 2008; Vargas et al., 2010
<i>Annona glabra</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	イヌバンレイシ	pond apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Meyer et al., 2014
<i>Annona macrophyllata</i> (= <i>Annona diversifolia</i> )	バンレイシ科	バンレイシ属	イラマ	ilama	Meyer et al., 2014; CABI, 2020; N'dépo et al., 2010; シノニム: EPPO, 2020
<i>Annona montana</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	ヤマトゲバンレイシ	mountain soursop	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; N'dépo et al., 2010; Meyer et al., 2014
<i>Annona muricata</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	トゲバンレイシ	soursop	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen

					et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015	
<i>Annona reticulata</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	ギユウシンリ	bullock's heart	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; Ndépo et al., 2010	
<i>Annona senegalensis</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	アンノナ・セネガレンシス	wild custard apple	CABI, 2020; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Annona squamosa</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	バンレイシ	sugar apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Rwomushana et al., 2008; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Polyalthia longifolia</i>	バンレイシ科	ポリアルティア属	ポリアルティア・ロンギフォリア		CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Ranganath et al., 1999	
<i>Rollinia mucosa</i> (= <i>Rollinia pulchrinervia</i> )	バンレイシ科	ロリニア属		biriba	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Lemos et al., 2014; EPPO, 2020	
<i>Xanthophyllum amoenum</i>	ヒメハギ科	キサントフィルム属	キサントフィルム・アモエヌム		Allwood et al., 1999	
<i>Xanthophyllum flavescens</i>	ヒメハギ科	キサントフィルム属	キサントフィルム・フラウエスケンス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Dillenia obovata</i>	ビワモドキ科	ディレニア属	ディレニア・オボバタ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Capparis sepiaria</i>	フウチョウソウ科	フウチョウボク属	カッパリス・セピアリア		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Capparis tomentosa</i>	フウチョウソウ科	フウチョウボク属	カッパリス・トメントサ		Ndiaye et al., 2012	

<i>Fagraea ceilanica</i>	マチン科	ファグラエア属	ファグラエア・ケイラニカ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Fagraea racemosa</i>	マチン科	ファグラエア属	ファグラエア・ラケモサ		Ranganath et al., 1999;	
<i>Vitis</i>	ブドウ科	ブドウ属			Okawa, 1991	
<i>Vitis vinifera</i>	ブドウ科	ブドウ属	ヨーロッパブドウ	European grape	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Rhodomyrtus tomentosa</i>	フトモモ科	テンニンカ属	テンニンカ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Psidium cattleianum</i> (= <i>Psidium littorale</i> )	フトモモ科	バンジロウ属	テリハバンジロウ	strawberry guava	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991; Vargas et al., 2010; Meyer et al., 2014	
<i>Psidium guajava</i>	フトモモ科	バンジロウ属	バンジロウ	guava	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauersmuller, 2005; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Vargas et al., 2010; Ndiaye et al., 2012; Lemos et al., 2014; Meyer et al., 2014; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Psidium guineense</i>	フトモモ科	バンジロウ属		Guinea guava	Almeida et al., 2016	
<i>Feijoa sellowiana</i> (= <i>Acca sellowiana</i> )	フトモモ科	フェイジョア属	フェイジョア	feijoa	Vargas et al., 2010; Badii et al., 2015; Isabirye et al., 2016	
<i>Syzygium bomeense</i> (= <i>Eugenia pseudosubtilis</i> )	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Syzygium cumini</i> (= <i>Eugenia cumini</i> , <i>Eugenia jambolana</i> )	フトモモ科	フトモモ属	ムラサキフトモモ	jambolan	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991; Meyer et al., 2014; Almeida et al., 2016	
<i>Syzygium formosanum</i>	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999	

<i>Syzygium jambos</i> (= <i>Eugenia jambos</i> , <i>Caryophyllus jambos</i> )	フトモモ科	フトモモ属	フトモモ	rose apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauers- muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas et al., 2010; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014
<i>Syzygium malaccense</i> (= <i>Eugenia malaccense</i> )	フトモモ科	フトモモ属	マレイフトモ モ	Malay apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農 林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014; Lemos et al., 2014; Ndépo et al., 2010
<i>Syzygium megacarpum</i> (= <i>Eugenia macrocarpa</i> , <i>Eugenia megacarpa</i> )	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Syzygium nervosum</i> (= <i>Eugenia paniata</i> )	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Eugenia aquea</i> (= <i>Syzygium aqueum</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属	ミズレンブ	water rose apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫 所, 2018b
<i>Eugenia caryophyllata</i> (= <i>Syzygium aromaticum</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属	チョウジノキ	clove tree	CABI, 2020; CABI, 2018b
<i>Eugenia grandis</i> (= <i>Syzygium grande</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属			CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Eugenia javanica</i> (= <i>Syzygium samarangense</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属	レンブ	wax apple	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫 所, 2018b; Sauers-muller, 2005; Meyer et al., 2014
<i>Eugenia longiflora</i> (= <i>Syzygium lineatum</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属	ユーゲニア・ ロンギフロー ラ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Eugenia patrisii</i> (= <i>Myrtus patrisii</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属			Sauers-muller, 2005
<i>Eugenia reinwardtiana</i>	フトモモ科	ユーゲニア属			CABI, 2020

<i>Eugenia stipitata</i>	フトモモ科	ユーゲニア属			Lemos et al., 2014; CABI, 2020	
<i>Eugenia uniflora</i> (= <i>Syzygium michelii</i> )	フトモモ科	ユーゲニア属	タチバナアデク	Surinam cherry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; Vargas et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Almeida et al., 2016; Isabirye et al., 2016	
<i>Muntingia calabura</i>	ホルトノキ科	ムンティンギア属	ナンヨウザクラ	Jamaica cherry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Elaeocarpus hygrophilus</i> (= <i>Elaeocarpus madopetalus</i> )	ホルトノキ科	ホルトノキ属	エラエオカルプス・ハイグロフィルス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Ximenia americana</i>	ボロボロノキ科	ハマナツメモドキ属	キシメニア・アメリカナ (ハマナツメモドキ)	hog plum	CABI, 2020; Ndiaye et al., 2015; Badii et al., 2015	
<i>Schoepfia fragrans</i>	ボロボロノキ科	ボロボロノキ属	スコエフィア・フラグランス		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Afzelia xylocarpa</i>	マメ科	アフゼリア属	アフゼリア・クシロカルパ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Pithecellobium dulce</i>	マメ科	キンキジュ属	キンキジュ	Manila tamarind	White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Cordyla pinnata</i>	マメ科	コルディラ属	コルディラ・ピンナータ		Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014	
<i>Inocarpus fagifer</i> (= <i>Inocarpus edulis</i> )	マメ科	タイハイヨウクルミ属	タイハイヨウグルミ	Tahitian chestnut	CABI, 2020	
<i>Parkia biglobosa</i>	マメ科	フサマメノキ属	ヒロハフサマメノキ	néré	Badii et al., 2015	
<i>Parkia speciosa</i>	マメ科	フサマメノキ属	ネジレフサマメノキ	bitter bean	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	

<i>Aegle marmelos</i>	ミカン科	アエグレ属	ベルノキ	bael fruit	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992
<i>Poncirus trifoliata</i>	ミカン科	カラタチ属	カラタチ	trifoliolate orange	CABI, 2020
<i>Fortunella japonica</i>	ミカン科	キンカン属	マルキンカン	round kumquat	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; Ndiaye et al., 2012
<i>Fortunella margarita</i>	ミカン科	キンカン属	ナガキンカン	oval kumquat	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014
<i>Fortunella polyandra</i>	ミカン科	キンカン属	ナガバキンカン		Allwood et al., 1999
<i>Fortunella japonica</i> × <i>Citrus aurantiifolia</i>	ミカン科	キンカン属 × ミカン属			Ndiaye et al., 2012
<i>Murraya paniculata</i> (= <i>Murraya exotica</i> )	ミカン科	ゲッキツ属	ゲッキツ		CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Toddalia asiatica</i>	ミカン科	サルカケミカン属	サルカケミカン		内川ら, 2010
<i>Citrofortunella microcarpa</i> (= <i>Citrofortunella mitis</i> , <i>Citrus</i> × <i>microcarpa</i> , <i>Citrus mitis</i> )	ミカン科	シトロフォーチュネラ属	シトロフォーチュネラ・ミクロカルパ	calamondin	CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Tetractomia majus</i>	ミカン科	テトラクトミア属	テトラクトミア・マジウス		Allwood et al., 1999
<i>Triphasia trifolia</i>	ミカン科	トリファシア属	グミミカン	limeberry	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Allwood et al., 1999
<i>Glycosmis pentaphylla</i>	ミカン科	ハナシンボウギ属	グリコスミス・ペンタフィラ	orangeberry	CABI, 2020; Allwood et al., 1999
<i>Paramignya andamanica</i>	ミカン科	パラミグニア属	パラミグニア・アンダマニカ		Allwood et al., 1999

<i>Citrus aurantium</i>	ミカン科	ミカン属	サワーオレンジ	sour orange	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Meyer et al., 2014; Ndiaye et al., 2012; Almeida et al., 2016; Ndépo et al., 2010	
<i>Citrus × clementina</i>	ミカン科	ミカン属	クレメンティン	clementine	Ndiaye et al., 2012	
<i>Citrus aurantiifolia</i>	ミカン科	ミカン属	メキシカンライム	Mexican lime	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Ndiaye et al., 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus depressa</i>	ミカン科	ミカン属	ヒラミレモン		内川ら, 2010	
<i>Citrus grandis</i> × <i>Citrus tangerine</i>	ミカン科	ミカン属	セミノール		内川ら, 2010	
<i>Citrus hystrix</i>	ミカン科	ミカン属	コブミカン	makrut lime	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus jambhiri</i>	ミカン科	ミカン属	ラフレモン	rough lemon	CABI, 2020	
<i>Citrus keraji</i> var. <i>kabuchii</i>	ミカン科	ミカン属			内川ら, 2010	
<i>Citrus latifolia</i>	ミカン科	ミカン属	タヒチライム	Persian lime	CABI, 2020	
<i>Citrus limetta</i>	ミカン科	ミカン属	スウィートレモン	sweet lemon	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus limon</i>	ミカン科	ミカン属	レモン	lemon	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; Rwomushana et al., 2008; White and Elson-Harris, 1992; Vargas et al., 2010; Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Isabirye et al., 2016	
<i>Citrus limonia</i>	ミカン科	ミカン属	ヒメレモン		CABI, 2018a	
<i>Citrus madurensis</i>	ミカン科	ミカン属	シキキツ		Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus margarita</i>	ミカン科	ミカン属	ナガキンカン	oval kumquat	内川ら, 2010	
<i>Citrus maxima</i> (= <i>Citrus grandis</i> )	ミカン科	ミカン属	ブンタン	pummelo, pomelo	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye	

					et al., 2012; Meyer et al., 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo et al., 2010	
<i>Citrus medica</i>	ミカン科	ミカン属	シトロン	citron	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus microcarpa</i>	ミカン科	ミカン属			Allwood et al., 1999	
<i>Citrus nobilis</i>	ミカン科	ミカン属	タンゴール	tangor	内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus oto</i>	ミカン科	ミカン属	オートー		内川ら, 2010	
<i>Citrus paradisi</i>	ミカン科	ミカン属	グレープフルーツ	grapefruit	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Sauers-muller, 2005; Vargas et al., 2010; N'dépo et al., 2010; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014	
<i>Citrus reticulata</i> (= <i>Citrus deliciosa</i> )	ミカン科	ミカン属	マンダリン	mandarin orange	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; Mwatawala et al., 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; Vargas et al., 2010; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Almeida et al., 2016; Isabirye et al., 2016	
<i>Citrus reticulata</i> × <i>Citrus paradisi</i>	ミカン科	ミカン属	タンジェロ	tangelo	Goergen et al., 2011; Ndiaye et al., 2012	
<i>Citrus reticulata</i> × <i>Citrus sinensis</i>	ミカン科	ミカン属			Ndiaye et al., 2012	
<i>Citrus sinensis</i>	ミカン科	ミカン属	スウィートオレンジ	sweet orange	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala et al., 2006; Goergen et al., 2011; Rwomushana et al., 2008; N'dépo et al., 2010; Ndiaye et al., 2012; Meyer et al., 2014; Isabirye et al., 2016	
<i>Citrus sinensis</i> × <i>Citrus reticulata</i>	ミカン科	ミカン属			Goergen et al., 2011	
<i>Citrus swinglei</i>	ミカン科	ミカン属	カキネミカン		CABI, 2020	

<i>Citrus tamurana</i>	ミカン科	ミカン属	ヒュウガナツ		内川ら, 2010	
<i>Citrus tangerina</i>	ミカン科	ミカン属	オオベニミカン		Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus tankan</i>	ミカン科	ミカン属	タンカン	tankan mandarin	内川ら, 2010	
<i>Citrus unshiu</i>	ミカン科	ミカン属	ウンシュウミカン	Satsuma mandarin	内川ら, 2010	
<i>Clausena lansium</i> (= <i>Clausena wampi</i> )	ミカン科	ワンピ属	ワンピ	wampee	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Turpinia temata</i>	ミツバウツギ科	ショウベンノキ属	ショウベンノキ		内川ら, 2010	
<i>Nephelium lappaceum</i>	ムクロジ科	ネフェリューム属	ランブータン	rambutan	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Blighia sapida</i> (= <i>Cupania sapida</i> )	ムクロジ科	アキー属	アキー	akee	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Goergen et al., 2011; Meyer et al., 2014	
<i>Dimocarpus longan</i> (= <i>Euphoria longan</i> )	ムクロジ科	リュウガン属	リュウガン	longan	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; 内川ら, 2010; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Litchi chinensis</i> (= <i>Nephelium litchi</i> )	ムクロジ科	レイシ属	レイシ	lichi	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Lepisanthes rubiginosa</i>	ムクロジ科	レピサンセス属	レピサンテス・ルビギノサ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Lepisanthes tetraphylla</i>	ムクロジ科	レピサンセス属	レピサンテス・テトラフィラ		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Pometia pinnata</i>	ムクロジ科	ポメティア属	ポメティア・ピンナタ (バ)	matoa	2025年に農林水産省植物防疫所の輸入検査で発見	追加

			ンリュウガ ン)			
<i>Cordia myxa</i>	ムラサキ科	カキバチシャ ノキ属	コルディア・ ミクサ		CABI, 2020; Rwomushana et al., 2008; Meyer et al., 2014	
<i>Ehretia dicksonii</i> (= <i>Ehretia dicksonii</i> var. <i>japonica</i> )	ムラサキ科	チシャノキ属	マルバチシャ ノキ		内川ら, 2010	
<i>Olea europaea</i>	モクセイ科	オリーブ属	オリーブ	olive	White and Elson-Harris, 1992; Okawa, 1991	
<i>Chionanthus parkinsonii</i> (= <i>Linociera parkinsoni</i> )	モクセイ科	ヒトツバタゴ 属	キオナンツ ス・パーキン ソニー		CABI, 2020; Allwood et al., 1999 シノニム: WCSP	
<i>Myxopyrum smilacifolium</i>	モクセイ科	ミクソピルム 属	ミクソピル ム・スミラキ フォリウム		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Areca catechu</i>	ヤシ科	ビンロウジュ 属	ビンロウジュ	betel palm	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; Allwood et al., 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Borassus flabellifer</i>	ヤシ科	オウギヤシ属	オウギヤシ	palmyra palm	CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Arenga pinnata</i> (= <i>Arenga saccharifera</i> )	ヤシ科	クロツグ属	サトウヤシ	sugar palm	CABI, 2020; Allwood et al., 1999; White and Elson-Harris, 1992; Drew and Hancock, 1994; シノニム: EPPO, 2020; WCSP	
<i>Arenga tremula</i>	ヤシ科	クロツグ属	コミノクロツ グ		内川ら, 2010	
<i>Arenga tremula</i> var. <i>engleri</i> (= <i>Arenga engleri</i> )	ヤシ科	クロツグ属	クロツグ	formosa palm	内川ら, 2010	
<i>Arenga westerhoutii</i>	ヤシ科	クロツグ属	アレンガ・ウ ェスターハウ ティー		CABI, 2020; Allwood et al., 1999	
<i>Salacca zalacca</i> (= <i>Salacca edulis</i> )	ヤシ科	サラカ属	サラカヤシ	salak	農林水産省植物防疫所, 2018b	

<i>Phoenix dactylifera</i>	ヤシ科	ナツメヤシ属	ナツメヤシ	date palm	White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye et al., 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b
<i>Myrica rubra</i>	ヤマモモ科	ヤマモモ属	ヤマモモ	red bayberry	内川ら, 2010

注) 備考欄の「追加」は、寄主植物として令和8（2026）年2月24日改訂時に追加した種。

※イエローピタヤを寄主植物としない根拠

いずれの学名においても、本種群がイエローピタヤを加害する情報はないため、イエローピタヤは寄主植物ではないと判断した。

なお、イエローピタヤの学名として近年は *Selenicereus megalanthus* (= *Hylocereus megalanthus*) (Korotkova et al., 2017; Ulloa Ulloa et al., 2017) とし、各国の植物分類に関わる機関のサイト（英国王立植物園(Plants of the World online); ミズーリ植物園(Tropics); European Distributed Institute of Taxonomy(EDIT); フランス国立自然史博物館(Muséum national d'Histoire naturelle)）においてもこれを採用している（Plants of the World online, 2020; Tropics, 2020; EDIT, 2020; INPN, 2020）。しかしながら、*Hylocereus megalanthus* (= *Selenicereus megalanthus*) と分類される文献（Bauer, 2003; Tel-Zu et al., 2004）もあることから、農林水産省植物防疫所においては従来どおりイエローピタヤは *Hylocereus megalanthus* と表記する。

**Bactrocera dorsalis species complex の寄主植物に関連する経路の年間輸入検査量  
(発生国からの貨物、郵便物及び携帯品)**

消費生植物（果実）

単位（数量）：kg

イタリックの国名は、当該植物が2国間の条件付きとして輸入されている対象国

植物名	生産国	2022		2023		2024	
		件数	数量	件数	数量	件数	数量
Capsicum annum var. grossum (PIMENTO)(ピーマン)	モーン	1	1				
Carica papaya(パパイヤ)	ハワイ諸島	121	157,910	152	156,318	267	143,291
	フィリピン	239	864,756	269	919,867	255	729,102
	台湾					1	1,218
Citrus(ミカン属(カボツ属))	アゼルバイジャン					1	1
Citrus limon(レモン)	南アフリカ	51	1,608,040	46	2,045,620	30	1,743,358
Citrus nobilis(ミカン)	アゼルバイジャン					1	1
Citrus paradisi(グレープフルーツ)	南アフリカ	730	21,230,478	393	16,150,290	487	18,879,187
Citrus reticulata 'Ponkan'(ポンカン)	台湾	6	36,442	8	44,800	7	39,252
Citrus sinensis(オレンジ)	南アフリカ	49	1,028,682	28	623,283	34	644,894
Cucumis sativus(キュウリ)	アゼルバイジャン					3	4
Diospyros kaki(カキ)	アゼルバイジャン	1	540	1	495		
Feijoa sellowiana(フェイジョア)	アゼルバイジャン					1	1
Fragaria X ananassa(オランダイチゴ)	モーン	1	1				
Garcinia mangostana(マンゴスチン)	タイ	76	81,993	146	142,161	246	257,047
Hylocereus undatus(ヒロチレウス・ウンダテツス(ドラゴンフルーツ・レッドピッチャ))	ベトナム	245	952,237	179	783,882	190	873,064
Hylocereus undatus*	ベトナム	279	1,057,596	157	663,838	152	597,685

costaricensis(ヒロセレ ス・ウンダーツス*コスタリケン ス雑種)							
Litchi chinensis(ライチ (ライチ))	ベトナム	32	100,010	50	108,222	21	60,165
	台湾	99	134,385	87	135,018	75	105,079
	中国	21	236,832	20	197,620	27	201,573
Luffa acutangula(トク トヘチマ)	モーン					2	60
Mangifera indica(マン ゴウ(マンゴ-))	アゼルバイ ジャン			2	103		
	インド	48	47,288	64	52,481	72	73,337
	タイ	577	913,289	868	985,932	1,009	1,166,182
	パキスタン	66	146,796	75	187,909	85	221,298
	フィリピン	8	5,860	12	11,243	17	11,205
	ベトナム	189	852,593	278	1,072,366	334	1,481,251
	台湾	259	522,669	297	719,487	314	662,291
Musa(バショウ属(バナ ナ))	インド	139	3,292	146	3,891	138	5,856
	カンダ	7	3,047	5	2,113	5	1,340
	ガーナ					3	66
	ガボン			1	6		
	カメルーン	1	38			1	50
	カボジア	5	231	1	1	7	368
	スリランカ	73	1,070	16	194	66	454
	タイ	2	26	5	447	10	16,885
	バングラ シュ	1	2				
	フィリピン	5	55	6	503	4	9,609
	ベトナム	9	376	18	20,982	32	1,400
	ラオス	5	82,500			2	147
	台湾	17	35,058	9	15,249	4	2,720
	Musa(バナナ(カダバ))	フィリピン	422	166,440	439	141,277	465
Musa(バナナ(キャベン ディッシュ))	インドネシア	116	1,823,262	149	2,285,713	239	3,697,349
	カボジア			16	294,320	241	4,887,421
	タイ	27	35,966				
	フィリピン	5,602	819,490,365	5,663	813,385,914	5,539	784,802,045
	ベトナム	211	4,497,880	350	8,435,781	937	22,741,754
	ラオス	126	2,736,000	249	4,224,000	544	9,058,500
	台湾	70	413,778	58	354,840	51	294,072
Musa(バナナ(セニョリタ))	タイ					1	1
	フィリピン	617	1,449,755	477	645,888	160	8,470
	台湾			1	1		
Musa(バナナ(その他))	インドネシア	7	8,287	39	6,102	51	9,384
	タイ	28	206,726	29	193,778	21	78,546
	フィリピン	760	2,555,213	851	2,864,236	875	2,894,284
	ベトナム	14	241,920	23	370,520	7	117,936

	台湾					8	39,024
Musa(バナナ(モロト))	フィリピン	327	40,976	340	50,371	325	43,027
Musa(バナナ(カタ))	フィリピン	42	2,381	69	2,582	56	2,691
Musa acuminata(=Musa nana)(ミバショウ(アケミナタ))	インド	1	10	2	20		
	カボジア	2	44	4	142	217	5,044,720
	ベトナム					18	283,915
	オース					1	39
Musa nana(=Musa acuminata)(ミバショウ(三尺バナ))	カボジア					1	19,764
Musa paradisiaca(料理用バナ)	インド	7	105	25	235	12	100
	ウガンダ	1	15	2	5	1	5
	ガーナ	4	68	1	5		
	コンゴ民主共和国	1	3				
	ナイジェリア	3	15	3	24	2	7
	フィリピン	2	5				
	ルワンダ			1	5		
	台湾	1	1,200				
Musa paradisiaca var. sapientum(バナナ)	アゼルバイジャン			1	1		
	インド	7	14	6	13	5	9
	インドネシア	53	727,592	41	540,551	6	46,348
	ウガンダ	13	239	13	193	25	413
	エチオピア					3	12
	ガーナ	21	118	19	97	15	81
	カメルーン	1	8	3	10	2	43
	カボジア	1	1	31	553,469	61	1,197,419
	ケニア	1	1	7	7	1	1
	ケニア	1	5				
	コートジボワール					1	3
	コンゴ民主共和国	1	5	1	2	3	18
	シガポール			3	3	1	4
	スリランカ	17	31	13	42	35	97
	タイ	201	2,300,194	122	1,153,720	148	1,364,832
	タンザニア	1	8	1	4		
	ナイジェリア	15	52	3	16	14	77
	セーシェル	1	1				
	ハワイ諸島	1	1	1	1	5	8
	バングラデシュ	6	8	8	11	4	15
	フィリピン	104	2,773,846	137	2,813,040	173	2,894,132
	ブルンジ					1	8

	ベトナム	235	3,873,353	314	7,518,933	390	10,296,209
	ベナン	1	3				
	マレーシア	3	4	4	5		
	ラオス	29	445,503	74	1,188,003	68	1,105,501
	ルワンダ					3	9
	香港	1	5	3	3	1	1
	台湾	150	1,100,352	191	1,242,174	153	970,681
	中国	1	1	9	9	6	12
	仏領リベリア			1	1	1	1
	北マリアナ諸島					1	7
Persea americana(アボカド)	フィリピン					5	28,994
	南アフリカ					6	21,450
Pometia pinnata(ボメティア・ピナタ(バンリュウガン))	インドネシア	4	23	2	2	3	3
	ベトナム			1	1	2	3
Prunus mume(ウメ)	アゼルバイジャン					1	1
Psidium guajava(パシジウム・グアジャバ)	アゼルバイジャン			2	266	1	318
Punica granatum(ザクロ)	アゼルバイジャン	2	3	3	6		
	オマーン	1	1				
Ziziphus mauritiana(インドナツメ)	台湾	32	27,194	34	33,076	27	20,356

## 諸外国における輸入検疫措置の詳細

輸入国	検疫措置	対象品目 (生果実)	対象病害虫	処理基準	根拠文献
アメリカ合衆国	低温処理	アンズ、ミカン属、ブドウ、ネクタリン、モモ、スモモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> <li>・ <i>C. quinaria</i></li> <li>・ <i>C. rosa</i></li> <li>・ <i>Thaumatotibia leucotreta</i></li> </ul>	果実中心温度-0.55℃以下で22日間	USDA, 2024
		ゴレンシ、レイシ、リュウガン、ナシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 1℃以下で18日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.38℃以下で18日間</li> </ul>	USDA, 2024
		バンジロウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 0℃以下で12日間</li> <li>・ 果実中心温度 1℃以下で15日間</li> </ul>	USDA, 2024
		中国産ミカン属（オレンジ等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera correcta</i></li> <li>・ <i>B. dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. occipitalis</i></li> <li>・ <i>B. pedestris</i></li> <li>・ <i>Zeugodacus cucurbitae</i></li> <li>・ <i>Z. tau</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 1.11℃以下で20日間</li> <li>・ 果実中心温度 0.56℃以下で18日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.67℃以下で22日間</li> </ul>	USDA, 2024
	熱処理（蒸熱処理）	台湾産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	果実中心温度 47.5℃以上で30分間	USDA, 2018a; USDA, 2018b
		ハワイ産パイナップル及び <i>Vasconcellea pubescens</i>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	果実中心温度 44.4℃以上で8時間45分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
		ハワイ産パパイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 44.4℃以上で8時間</li> </ul>	USDA, 2018b; USDA, 2017

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	45 分間 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 47.2°C まで 4 時間で上昇</li> </ul>	
	ハワイ産レイシ、リュウガン及びランブータン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	果実中心温度 47.2°C まで 1 時間で上げ、その温度で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
	トウガラシ、ナス、カリカ、パパイヤ、パイナップル、ペポカボチャ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> <li>・ <i>Zeugodacus cucurbitae</i></li> </ul>	果実中心温度 44.4°C 以上で 8 時間 45 分	USDA, 2024
熱処理（温湯浸漬）	ハワイ産レイシ及びリュウガン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	温湯温度 49°C 以上で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
熱処理（強制通風処理）	ハワイ産パパイヤ及びカンキツ属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	果実中心温度 47.2°C まで 4 時間で上げ、その温度で 5 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
	ハワイ産ランブータン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	果実中心温度 47.2°C まで 4 時間で上げ、その温度で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
臭化メチルくん蒸処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ フィリピン産アボカド</li> <li>・ ハワイ産アボカド</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> </ul>	32 g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、21.2°C 以上で 30 分（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 26oz）、2 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 16oz）又は 4 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 14oz）	USDA, 2024
臭化メチルくん蒸処理 + 低温処理	リンゴ、アンズ、アボカド、サクランボ、ブドウ、キウイ、ネクタリン、モモ、ナシ、スモモ、マルメロ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. tryoni</i></li> <li>・ <i>Ceratitis capitata</i></li> <li>・ <i>Zeugodacus cucurbitae</i></li> </ul>	投薬量 32 g/m <sup>3</sup> 、21.2°C 以上で 30 分（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 25oz）又は 2 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 18oz） + 0.56~2.77°C で 4 日間又は 3.33~8.33°C で 11 日間	USDA, 2024

	放射線照射処理	ハワイ産のミカン属、カボチャ属等の生果実、フィリピン産マンゴウ、ベトナム産ポメロ	本種を含むミバエ科ミバエ科	150Gy 以上 (1,000Gy を超過しない)	USDA, 2024
		ハワイ産及びフィリピン産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミバエ科の全ミバエ</li> <li>・ <i>Stemochetus mangiferae</i></li> </ul>	300Gy 以上 (1,000Gy を超過しない)	USDA, 2024
	複合措置	中華人民共和国産スイートオレンジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> <li>・ <i>B. minax</i></li> <li>・ <i>B. occipitalis</i></li> <li>・ <i>B. pedestris</i></li> <li>・ <i>B. tau</i></li> <li>・ <i>B. tsuneonis</i></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>B. minax</i> 及び <i>B. tsuneonis</i> に対する措置 : Pest Free Places of Production (PFPP) で生産。</li> <li>・ <i>B. correcta</i>、<i>B. cucurbitae</i>、<i>B. dorsalis</i>、<i>B. occipitalis</i>、<i>B. pedestris</i> 及び <i>B. tau</i> については、これらミバエの PFPP、又は生産場所がこれらミバエの低密度発生である場合は、追加で植物検疫上の安全措置としての輸送中の低温処理。</li> </ul>	USDA, 2024
オーストラリア	病害虫無発生地域	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除く。)、リンゴ、ナシ、モモ、ネクタリン、スモモ及びアンズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Drosophila suzukii</i></li> </ul>	北緯 33 度以北	BICON, 2018
	低温処理	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除く。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Drosophila suzukii</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 0℃ 以下で 10 日間</li> <li>・ 果実中心温度 0.56℃ 以下で 11 日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.11℃ 以下で 12 日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.67℃ 以下で 14 日間</li> </ul>	BICON, 2018
		中華人民共和国産リンゴ、ナシ、モモ、ネクタリン、スモモ及びアンズ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	果実中心温度 3℃ 以下で 18 日間	BICON, 2018

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中華人民共和国産レイシ</li> <li>・台湾産レイシ</li> <li>・タイ産レイシ</li> </ul>	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・果実中心温度 0.99°C 以下で 17 日間</li> <li>・果実中心温度 1.38°C 以下で 20 日間</li> </ul>	BICON, 2018
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中華人民共和国産リュウガン</li> <li>・タイ産リュウガン</li> </ul>	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・防除を実施している園地の場合：果実中心温度 0.99°C 以下で 15 日間又は果実中心温度 1.38°C 以下で 18 日間</li> <li>・防除を実施していない園地の場合：果実中心温度 0.99°C 以下で 17 日間又は果実中心温度 1.38°C 以下で 20 日間</li> </ul>	BICON, 2018
	インド産ブドウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera correcta</i></li> <li>・ <i>B. dorsalis</i></li> <li>・ <i>Drosophila suzukii</i></li> </ul>	同上	BICON, 2024
	インド産ポメロ	ミバエ類 (fruit fly)	1.67°C 以下で 18 日間	BICON, 2024
熱処理 (蒸熱処理)	ベトナム産ヒロセレウス属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	果実中心温度 46.5°C 以上で 40 分間 (庫内湿度 90%以上)	BICON, 2018
	中華人民共和国産リュウガン及びレイシ	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 47°C 以上で 15 分間</li> <li>・ 果実中心温度 46°C 以上で 20 分間</li> </ul>	BICON, 2018
	台湾産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	果実中心温度 46.5°C 以上で 30 分間	BICON, 2018

	インド産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 46.5°C 以上で 30 分間 ・ 果実中心温度 47.5°C 以上で 20 分間	BICON, 2018
	フィリピン産マンゴウ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. occipitalis</i>	・ 果実中心温度 46°C で 10 分以上 + ・ 1 ロットあたり 600 果を外観検査し、異常が見られた場合果実を切開して内部を検査する。	BICON, 2024
熱処理 (温湯浸漬処理)	パキスタン産マンゴウ	・ <i>Bactrocera correcta</i> ・ <i>B. dorsalis</i> ・ <i>B. zonata</i>	果実中心温度 48°C 以上で 60 分以上	BICON, 2024
臭化メチルくん蒸処理 + 低温処理	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除く。)	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21°C 以上で 2 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 2.77°C 以下で 4 日間 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21°C 以上で 2.5 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 4.44°C 以下で 4 日間 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21°C 以上で 3 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 8.33°C 以下で 3 日間 ・ 40g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21°C 以上で 2 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 2.77°C 以下で 4 日間	BICON, 2018

臭化メチル くん蒸処理 +低温処理	中華人民共和国産リンゴ、 ナシ、モモ、ネクタリン、 スモモ及びアンズ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実 中心温度 21°C 以上で 2 時間（収容 率は 50%以下）+果実中心温度 2.77°C 以下で 4 日間 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実 中心温度 21°C 以上で 2.5 時間（収 容率は 50%以下）+果実中心温度 4.44°C 以下で 4 日間 ・ 32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、果実 中心温度 21°C 以上で 3 時間（収容率 は 50%以下）+果実中心温度 8.33°C 以下で 3 日間	BICON, 2018
SO <sub>2</sub> /CO <sub>2</sub> く ん蒸+低温 処理	中華人民共和国産ブドウ （新疆ウイグル自治区を除 く。）	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 15.6°C 以上で、 6%CO <sub>2</sub> 及び1%SO <sub>2</sub> で 30 分間（収 容率は 33%以下）+果実中心温度- 0.5±0.5°C 以下で 10 日間 ・ 果実中心温度 15.6°C 以上で、 6%CO <sub>2</sub> 及び1%SO <sub>2</sub> で 30 分間（収 容率は 33%以下）+果実中心温度 0.9±0.5°C 以下で 12 日間	BICON, 2018
放射線照射 処理	ベトナム産りゅうがん	・ <i>Bactrocera correcta</i> ・ <i>Bactrocera dorsalis</i>	最小線量 150Gy、最大線量 1,000Gy	BICON, 2024

		インド産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	最小線量 150Gy	BICON, 2024
		パキスタン産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera correcta</i></li> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>Bactrocera zonata</i></li> </ul>		
ニュージーランド	病害虫無発生地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i> 発生国産ランブータン</li> <li>・ 中華人民共和国産バナナ他</li> </ul>	<i>Bactrocera dorsalis</i>	ISPM 26 (Establishment of pest free areas for fruit flies (Tephritidae)) に基づき設定、管理及び維持	MPI, 2018
	低温処理	台湾産レイシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	果実中心温度 1.0°C 以下で 13 日間	MPI, 2018
		タイ産レイシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 0°C 以下で 10 日間</li> <li>・ 果実中心温度 0.56°C 以下で 11 日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.11°C 以下で 12 日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.67°C 以下で 14 日間</li> </ul>	MPI, 2018
		タイ産リュウガン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 0.99°C 以下で 13 日間</li> <li>・ 果実中心温度 1.38°C 以下で 18 日間</li> </ul>	MPI, 2018
		ミカン属	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> </ul>	果実中心温度 1.7°C 以下で 15 日間	MPI, 2024

熱処理（蒸熱処理）	台湾産レイシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	室温から 46.5°C まで上げ、その温度で 20 分間	MPI, 2018
	タイ産レイシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> </ul>	室温から 47°C まで上げ、その温度で 20 分間	MPI, 2018
	タイ産リュウガン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> </ul>		MPI, 2018
	ベトナム産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. carambolae</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> </ul>	以下のいずれかの基準で処理。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 果実中心温度 46.5°C 以上で 30 分間</li> <li>・ 果実中心温度 47°C 以上で 20 分間</li> </ul>	MPI, 2018
	インド産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. caryeae</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> <li>・ <i>B. diversa</i></li> <li>・ <i>B. tau</i></li> <li>・ <i>B. zonata</i></li> </ul>		
臭化メチルくん蒸処理	インドネシア産マンゴスチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera carambolae</i></li> <li>・ <i>B. papayae</i></li> </ul>	32g/m <sup>3</sup> の臭化メチルを使用し、21°C 以上で 3 時間（収容率は 50%を超えないこと）	MPI, 2018
放射線照射処理	タイ産レイシ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>Conogethes punctiferalis</i></li> </ul>	250Gy 以上	MPI, 2018
	タイ産リュウガン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> <li>・ <i>Conogethes punctiferalis</i></li> </ul>		

		ベトナム産マンゴウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. carambolae</i></li> <li>・ <i>B. cucurbitae</i></li> <li>・ <i>B. correcta</i></li> </ul>	400Gy 以上	MPI, 2018
		<i>Bactrocera dorsalis</i> 発生国産 ランブータン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> </ul>	ISPM 28 Annex 7 (Irradiation treatment for fruit flies of the family Tephritidae (generic)) に基づく処理	MPI, 2018
	収穫からこ ん包までの 措置	タイ産マンゴスチン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <i>Bactrocera dorsalis</i></li> <li>・ <i>B. carambolae</i></li> <li>・ <i>B. papaya</i></li> </ul>	成熟果を収穫し、こん包施設で荷口の 全量を目視検査（傷害果の有無）	MPI, 2018
ISPM28Annex 32	熱処理（蒸 熱処理）	パパイヤ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	庫内温度を室温から 47°C に 3 時間以上 かけて上昇させ（相対湿度 80%以下）、 果実中心温度 46°C で 70 分間 （庫内温度 47°C 以上・相対湿度 90% 以上）	FAO, 2018
ISPM28Annex 7	放射線照射 処理	ミバエ科の寄主植物（生果 実及び野菜）	ミバエ科	最低 150Gy 照射	FAO, 2016
ISPM28Annex 33		<i>Bactrocera dorsalis</i> の寄主植 物（生果実及び野菜）	<i>Bactrocera dorsalis</i>	最低 116Gy 照射	FAO, 2021

## 引用文献

- Akbar, S. A., S. U. Nabi, S. Mansoor and K. A. Khan (2019) Morpho-molecular identification and a new host report of *Bactrocera dorsalis* (Hendel) from the Kashmir valley (India). *International Journal of Tropical Insect Science*: 1-11.
- Almeida, R. D. R., K. R. Cruz, M. D. S. M. De Sousa, S. V. Da Costa-Neto, C. R. De Jesus-Barros, A. L. Lima and R. Adaime (2016) Frugivorous flies (Diptera: Tephritidae, Lonchaeidae) associated with fruit production on Ilha de Santana, Brazilian Amazon. *Florida Entomologist* 99: 426-436.
- Allwood, A. J., A. Chinajariyawong, R. A. I. Drew, E. L. Hamacek, D. L. Hancock, C. Hengsawad, J. C. Jipanin, M. Jirasurat, C. Kong Krong, S. Kritsaneepaiboon, C. T. S. Leong and S. Vijaysegaran (1999). Host plant records for fruit flies (Diptera: Tephritidae) in Southeast Asia. *The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement* 7: 1-92.
- APQA (2020) 식물검역 수입식물 검역정보 금지식물 (輸入禁止植物) . (online), available from <[http://www.qia.go.kr/plant/imQua/plant\\_no\\_imp.jsp](http://www.qia.go.kr/plant/imQua/plant_no_imp.jsp)>, (accessed 2020-09-03).
- Badii, K. B., M. K. Billah, K. Afreh-Nuamah and D. Obeng-Ofori. (2015) Species composition and host range of fruit-infesting flies (Diptera: Tephritidae) in northern Ghana. *International Journal of Tropical Insect Science* 35: 137-151.
- Bauer, R. (2003) A synopsis of the tribe Hylocereae F. Buxb. *Cactaceae Systematics Initiatives* 17: 1-63.
- BEBIF (2016) *Bactrocera dorsalis*. In: True Fruit Flies (Diptera: Tephritidae) of the Afrotropical Region. (online), available from <<http://projects.bebif.be/fruitfly/specimeninfo.html?id=16180>>, (accessed 2021-10-28).
- BICON (2018) Australian Biosecurity Import Conditions. (online), available from <<https://bicon.agriculture.gov.au/BiconWeb4.0/>>, (accessed 2018-08-01).
- BICON (2024) Australian Biosecurity Import Conditions. (online), available from <<https://bicon.agriculture.gov.au/BiconWeb4.0/>>, (accessed 2024-10-01).
- CABI (2018a) *Bactrocera carambolae*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified 2018-03-27).
- CABI (2018b) *Bactrocera dorsalis*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>.
- CABI (2020) *Bactrocera caryeae*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera kandiensis*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera pyrifoliae*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:24 November 2019). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera carambolae*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera dorsalis*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:10 December 2020). (accessed 2021-02-19).
- CABI (2020) *Bactrocera occipitalis*. Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- Castilho A. P., J. Pasinato, J. E. V. Dos Santos, A. E. S. Da Costa, D. E. Nava, C. R. De Jesus, R. Adaime (2019) Biology of *Bactrocera carambolae* (Diptera: Tephritidae) on four hosts. *Revista Brasileira de Entomologia* 63: 302-307.
- Drew, R. A. I. and D. L. Hancock (1994) The *Bactrocera dorsalis* complex of fruit flies (Diptera: Tephritidae: Dacinae) in Asia. *Bulletin of Entomological Research Supplement Series Supplement No. 2*. CAB

- International: 68 pp.
- Drew, R. A. I. and M. C. Romig (2013) Tropical fruit flies of South-East Asia. CAB International: 653 pp.
- Elwan, A. A. (2000) Survey of the insect and mite pests associated with date palm trees in Al-Dakhliya region, Sultanate of Oman. *Egyptian Journal of Agricultural Research* 78: 653-664.
- EPPO (2020) *Bactrocera kandiensis*. EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-07-24).
- EPPO (2020) *Bactrocera carambolae*. EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-05-28).
- EPPO (2020) *Bactrocera dorsalis*. EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-07-24).
- EPPO (2021) *Bactrocera dorsalis*. EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2021-09-30).
- EPPO (2024) EPPO Reporting Service 2024/097. New data on quarantine pests and pests of the EPPO Alert List. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-7847>>, (accessed 2024-08-20).
- FAO (2015) ISPM 26 Establishment of pest free areas for fruit flies (Tephritidae).
- FAO (2016) ISPM 28 PT 7: Irradiation treatment for fruit flies of the family Tephritidae (generic).
- FAO (2018) ISPM 28 PT 32: Vapour heat treatment for *Bactrocera dorsalis* on *Carica papaya*.
- FAO (2021) ISPM 28 PT 33: Irradiation treatment for *Bactrocera dorsalis*.
- Goergen, G., J. F. Vayssieres, D. Gnanvossou and M. Tindo (2011) *Bactrocera invadens* (Diptera: Tephritidae), a new invasive fruit fly pest for the Afrotropical Region: host plant range and distribution in West and Central Africa. *Environmental Entomology* 40: 844-854.
- Harris, E. J., N. J. Liquido and C. Y. L. Lee. (2003) Patterns in appearance and fruit host utilization of fruit flies (Diptera: Tephritidae) on the Kalaupapa Peninsula, Molokai, Hawaii. *Proceedings of the Hawaiian Entomological Society* 36: 69-78.
- Howarth, B. (2006) Diptera of the UAE - collated records from the literature with additions of new records, accompanied by some notes on Mydidae and Stratiomyidae new to the UAE. *Tribulus* 16.2 Autumn/Winter 2006: 24-29.
- Hussain, M. A., A. Haile and T. Ahmad (2015) Infestation of two tephritid fruit flies, *Bactrocera dorsalis* (syn. *B. invadens*) and *Ceratitis capitata*, in guava fruits from selected regions of Eritrea. *Agrican Entomology* 23: 510-513.
- Ichinohe, F., M. Mizobuchi and K. Iha (1980) Notes on the biology of *Dacus expandens* WALKER (Diptera: Tephritidae), with morphological description of the immature stages of *D. expandens* and *D. dorsalis*. *Research Bulletin of the Plant Protection Service Japan* 16: 35-40.
- 一戸文彦・古茶武男・尊田望之 (1973) ミカンコミバエの卵巢の発育および産卵数. *植物防疫所調査研究報告* 11: 54-56.
- INPN (2020) *Selenicereus megalanthus* (K. Schum. ex Vaupel) Moran, 1953. *Invetaire National du Patrimoine Naturel*. Muséum national d'Histoire naturelle. (online), available from <[https://inpn.mnhn.fr/espece/cd\\_nom/886333/tab/taxo?lg=en](https://inpn.mnhn.fr/espece/cd_nom/886333/tab/taxo?lg=en)>. (accessed 2020-11-02).
- Isabiye, B. E., A. M. Akol, H. Muyinza, C. Masembe, I. Rwomushana and C. K. Nankinga (2016) Fruit fly (Diptera: Tephritidae) Host Status and Relative Infestation of Selected Mango Cultivars in Three Agro ecological zones in Uganda. *International Journal of Fruit Science* 16: 23-41.
- 石井象二郎・桐谷圭治・古茶武男 (1985) ミバエの根絶—理論と実際—. *社団法人農林水産航空協会*: 391 pp.
- Iwaizumi, R., M. Kumagai and S. Katsumata (1994) Research of infestation to several kinds of fruits by the

- melon fly, *Bactrocera cucurbitae* (COQUILLET) and the oriental fruit fly, *B. dorsalis* (HENDEL) (Diptera: Tephritidae). Research Bulletin of the Plant Protection Service Japan 30: 93-97.
- 岩泉連 (1995) ミバエ 3 種の日本における世代期間推定のための簡易早見表. 植物防疫所調査研究報告 31: 129-131.
- 岩泉連・熊谷正樹・加藤利之 (1995) ミカンコミバエ及びウリミバエの寄主植物としてのピタヤ *Hylocereus undatus* の植物検疫重要性. 植物防疫所調査研究報告 31: 101-104.
- Lemos, L. N., R. Adaime, C. R. Jesus-Barros, E. G. Deus (2014) New hosts of *Bactrocera carambolae* (Diptera: Tephritidae) in Brazil. Florida Entomologist 97: 694–704.
- Linquido, N., E. J. Harris and L. A. Dekker (1994) Ecology of *Bactrocera latifrons* (Diptera: Tephritidae) Populations: host plant, natural enemies, distribution, abundance. Annals of the Entomological Society of America 87: 71-84.
- 上地俊久・有本誠 (2012) 我が国が侵入を警戒している病害虫について (1) 害虫. 植物防疫 66: 51-54.
- 加藤紀香 (2016) 奄美大島におけるミカンコミバエ種群の緊急防除の解除について. 植物防疫 70: 717-720.
- 厚生省 (1947) 食品衛生法 (昭和 22 年法律第 233 号) .
- Korotkova, N., T. Borsch and S. Arias (2017) A phylogenetic framework for the Hylocereae (Cactaceae) and implications for the circumscription of the genera. Phytotaxa 327: 1–46.
- Malavasi, A., D. Midgarden, A. Van Sauers-Muller and M. J. S. Godoy (2013) Manual for the control of the carambola fruit fly in South America. CFF operation manual. Second edition, IICA. (online), available from <[https://www.researchgate.net/publication/317182807\\_Manual\\_for\\_the\\_control\\_of\\_the\\_Carambola\\_fruit\\_fly\\_in\\_South\\_America](https://www.researchgate.net/publication/317182807_Manual_for_the_control_of_the_Carambola_fruit_fly_in_South_America)>, (accessed 2024-08-20).
- Meyer, M. D., S. Mohamed and I. M. White (2014) Invasive fruit fly pests in Africa. (online), available from <<https://www.africamuseum.be/fruifly/AfroAsia.htm>>, (last updated 2014-02-16).
- MAF (2018) The annual report 2018. Directorate General of Agricultural and Animal Research, Ministry of Agriculture and Fisheries. (online), available from <<http://5.162.223.177/Pages/BulletinDetails.aspx?Id=801&lang=AR&I=0&DId=0&CId=0&CMSId=800020>>, (accessed 2021-10-28).
- Mafirakurewa, V. C. (2016) Diversity and population dynamics of *Bactrocera invadens* and other tephritid fruit fly species infesting mango (*Mangifera indica*) in Zimbabwe and relative efficacies of selected insecticides incorporated in food baits. A Thesis Submitted in Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree of Master of Science in Tropical Entomology. University of Zimbabwe: 73 pp. (online), available from <[http://41.175.146.201/bitstream/handle/10646/2588/Mafira\\_Bactrocera\\_invades\\_and\\_other\\_tephritid\\_fruit\\_fly\\_species\\_infesting\\_mango.pdf?sequence=1&isAllowed=y](http://41.175.146.201/bitstream/handle/10646/2588/Mafira_Bactrocera_invades_and_other_tephritid_fruit_fly_species_infesting_mango.pdf?sequence=1&isAllowed=y)>, (accessed 2020-07-17).
- MICAF (2005) The Plants (Importation) Control (Amendment) Regulations, 2005.
- MPI (2018) Import health standards. (online), available from <<http://www.mpi.govt.nz/importing/food/fresh-fruit-and-vegetables/requirements/>>, (accessed 2018-07-13).
- MPI (2024) Import health standards. (online), available from <<http://www.mpi.govt.nz/importing/food/fresh-fruit-and-vegetables/requirements/>>, (accessed 2024-10-01).
- Musasa, S. T., A. B. Mashingaidze, R. Musundire, A. A. Aguiar, J. Vieira and C. P. Vieira (2019) Fruit fly identification, population dynamics and fruit damage during fruiting seasons of sweet oranges in Rusitu Valley, Zimbabwe. Scientific reports 9: 1-11.
- Mwatawala, M. W., M. De Meyer, R. H. Makundi and A. P. Maerere (2006) Seasonality and host utilization of the invasive fruit fly, *Bactrocera invadens* (Dipt., Tephritidae) in central Tanzania. Journal of Applied Entomology

130: 530-537.

- N'dépo, O. R., N. F. Hala, A. Gnago, K. Allou, K. P. Kouassi, J. F. Vayssières and M. De Meyer (2010) Inventaire des Mouches des Fruits de Trois Régions Agro-écologiques et des Plantes-hôtes Associées à L'espèce Nouvelle, *Bactrocera (Bactrocera) invadens* Drew et al. (Diptera: Tephritidae) en Côte-d'Ivoire. European Journal of Scientific Research: 62-72.
- Ndiaye, O., J. F. Vayssières, J. Y. Rey, S. Ndiaye, P. M. Diedhiou, C. T. Ba and P. Diatta (2012) Seasonality and range of fruit fly (Diptera: Tephritidae) host plants in orchards in Niayes and the Thiès Plateau (Senegal). Fruits 67: 311-331.
- Ndiaye, O., S. Ndiaye, S. Djiba, C. T. Ba, L. Vaughan, J. Y. Rey and J. F. Vayssières (2015) Preliminary surveys after release of the fruit fly parasitoid *Fopius arisanus* Sonan (Hymenoptera Braconidae) in mango production systems in Casamance (Senegal). Fruits 70: 91-99.
- 農林省 (1950) 植物防疫法施行規則 (昭和 25 年農林省令第 73 号) .
- 農林水産省植物防疫所 (1986) わが国からミカンコミバエ根絶に成功. 病害虫情報 19:1-3. (online), available from <[http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/pdf/pestinfo\\_019\\_1-3.pdf](http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/pdf/pestinfo_019_1-3.pdf)>, (accessed 2018-08-08).
- 農林水産省植物防疫所 (2018b) 植物検疫統計 統計レポート(1997 年~2017 年). (online), available from <<http://www.maff.go.jp/pps/>>, (accessed 2018-08-08).
- 植物防疫所 (2024) 侵入調査について. 植物防疫所ホームページ. (online), available from <<http://www.maff.go.jp/pps/>>, (accessed 2024-10-25).
- Okawa, Y. (1991) Records of Interception of the Oriental Fruit Fly, *Dacus dorsalis* Hendel, at the import quarantine inspection at airports in Japan. FAO Quarterly Newsletter –Asia and Pacific Plant Protection Commission 34: 4-6.
- Otuka, A., K. Nagayoshi, S. Sanada-Morimura, M. Matsumura, D. Haraguchi and R. Kakazu (2016) Estimation of possible sources for wind-borne re-invasion of *Bactrocera dorsalis* complex (Diptera: Tephritidae) into islands of Okinawa Prefecture, southwestern Japan. Applied Entomology and Zoology 51: 21-35.
- Plants of the World Online (2020) Kew science. (Royal Botanic Gardens, Kew) *Hylocereus megalanthus*. (online), available from <<http://powo.science.kew.org/taxon/50425948-2>>, (accessed 2020-11-02).
- Queensland Government (2020) Oriental fruit fly. (online), available from <<https://www.business.qld.gov.au/industries/farms-fishing-forestry/agriculture/crop-growing/priority-pest-disease/oriental-fruit-fly>>, (Last updated 2020-02-16).
- Ranganath, H. R. and K. Veenakumari (1999) Notes on the Dacine fruit flies (Diptera: Tephritidae) of Andaman and Nicobar Islands - II. The Raffles Bulletin of Zoology. 47: 221-224.
- Rwomushana, I., S. Ekesi, I. Gordon and C. K. P. O. Ogol (2008) Host plants and host plant preference studies for *Bactrocera invadens* (Diptera: Tephritidae) in Kenya, a new invasive fruit fly species in Africa. Annals of the Entomological Society of America 101: 331-340.
- 佐伯聰・片山満・奥村正美 (1980) ミカンコミバエの生育限界に関する調査. 植物防疫所調査研究報告 16: 73-76.
- Sauers-Muller, A. V. (2005) Host plants of the Carambola fruit fly, *Bactrocera carambolae* Drew & Hancock (Diptera: Tephritidae), in Suriname, South America. Neotropical Entomology 34: 203-214.
- Schutze, M. K., N. Aketarawong, W. Amomsak, K. F. Armstrong, A. A. Augustinos, N. Barr, W. Bo, K. Bourtzis, L. N. Boykin, C. Caceres, S. L. Cameron, T. A. Chapman, S. Chirvinijkul, A. Chomic, M. De Meyer, E. Drosopoulou, A. Englezou, S. Ekesi, A. Gariou-Papalexiou, S. M. Geib, D. Hailstones, M. Hasanuzzaman, D. Haymer, A. K. W. Hee, J. Hendrichs, A. Jessup, Q. Ji, F. M. Khamis, M. N. Krosch, L. Leblanc, K. Mahmood, A. R. Malacrida, P. Mavragani-Tsipidou, M. Mwatawala, R. Nishida, H. Ono, J. Reyes, D.

- Rubinoff, M. Sanjose, T. E. Shelly, S. Srikachar, K. H. Tan, S. Thanaphum, I. Haq, S. Vijaysegaran, S. L. Wee, F. Yesmin, A. Zacharopoulou and A. R. Clarke (2015) Synonymization of key pest species within the *Bactrocera dorsalis* species complex (Diptera: Tephritidae): taxonomic changes based on a review of 20 years of integrative morphological, molecular, cytogenetic, behavioural and chemoeological data. *Systematic Entomology* 40: 456-471.
- 朱耀沂・陳建志 (1985) 東方果實蠅之非栽培性寄主植物誌. 國立臺灣大學植物病蟲害. 第 12 期: 63-77.
- Sookar P., N. Patel and P. Ramkalawon (2020) *Bactrocera dorsalis* an invasive fruit fly species. Book of abstracts 4th International TEAM meeting (La Grande Motte, FR, 2020-10-05/09), po-49. (online), available from <[https://www.alphavisa.com/team/2020/documents/Abstract-book\\_TEAM-2020.pdf](https://www.alphavisa.com/team/2020/documents/Abstract-book_TEAM-2020.pdf)>, (accessed 2021-06-30).
- Tel-Zur, N., S. Abbo, D. Bar-Zvi and Y. Mizrahi (2004) Genetic relationships among *Hylocereus* and *Selenicereus* vine cacti (Cactaceae): evidence from hybridization and cytological studies. *Annals of Botany* 94: 527-534.
- Tropics (2020) *Selenicereus megalanthus* (K. Schum. ex Vaupel) Moran. Missouri Botanical Garden. (online), available from <<http://legacy.tropicos.org/Name/5102142?tab=synonyms>>. (accessed 2020-11-02).
- 内川英幸・久場洋之・小濱継雄 (2010) ミバエ類寄主植物調査ハンドブック. 沖縄県病害虫防除技術センター: 143 pp.
- Ulloa Ulloa, C., P. Acevedo-Rodríguez, S. G. Beck, M. J. Belgrano, R. Bernal, P. E. Berry, L. Brako, M. Celis, G. Davidse, S. R. Gradstein, O. Hokche, B. León, S. León-Yáñez, R. E. Magill, D. A. Neill, M. H. Nee, P. H. Raven, H. Stimmel, M. T. Strong, J. L. Villaseñor Ríos, J. L. Zarucchi, F. O. Zuloaga and P. M. Jørgensen (2017) An integrated assessment of vascular plants species of the Americas. *Science* 358: 1614-1617. (Online), available from <<https://www.science.org/doi/10.1126/science.aao0398>>, (accessed 2021-02-24).
- USDA (2017) Regulation and Clearance from Hawaii to Other Parts of the United States. (online), available from <[https://www.aphis.usda.gov/import\\_export/plants/manuals/ports/downloads/hawaii.pdf](https://www.aphis.usda.gov/import_export/plants/manuals/ports/downloads/hawaii.pdf)>, (accessed 2018-07-10).
- USDA (2018a) Fruits and Vegetables Import Requirements (FAVIR). (online), available from <<https://epermits.aphis.usda.gov/manual/index.cfm?CFID=1298323&CFTOKEN=b6164ad8285fff4-7F55E03D-08A1-B03F-6433FA44E1B7CCF6&ACTION=pubHome>>, (accessed 2020-09-07).
- USDA (2018b) Treatment Manual. (online), available from <[https://www.aphis.usda.gov/aphis/ourfocus/planthealth/import-information/sa\\_quarantine\\_treatments/ct\\_quarantine-treatment](https://www.aphis.usda.gov/aphis/ourfocus/planthealth/import-information/sa_quarantine_treatments/ct_quarantine-treatment)>, (accessed 2020-09-07).
- USDA (2024) Treatment Schedule Document Search, Agricultural Commodity Import Requirements. (online), available from <<https://acir.aphis.usda.gov/s/>>, (accessed 2024-09-25).
- Vargas, R. I., J. C. Piñero, R. F. Mau, E. B. Jang, L. M. Klungness, D. O. McInnis, D. O., E. B. Harris, G. T. McQuate<sup>1</sup>, R. C. Bautista and L. Wong (2010) Area-wide suppression of the Mediterranean fruit fly, *Ceratitis capitata*, and the Oriental fruit fly, *Bactrocera dorsalis*, in Kamuela, Hawaii. *Journal of Insect Science* 10: 135.
- White, I. M. (2006) Taxonomy of the Dacina (Diptera: Tephritidae) of Africa and the Middle East. *African Entomology*, (Memoir No. 2): 1-156.
- White, I. M. and M. M. Elson-Harris (1992) Fruit flies of economic significance: Their identification and bionomics. CAB International: 601 pp.
- Yong, H. S., P. E. Lim and J. Tan (2014) *Gnetum gnemon* (Gnetaceae): a new host plant of carambola fruit fly *Bactrocera carambolae* (Insecta: Tephritidae). *Journal of Science and Technology in the Tropics* 10: 39-44.
- 吉澤治 (1993) わが国において根絶に成功したミバエ類の根絶防除事業の概要. *植物防疫* 47: 527-533.